

石川県こころの健康センター所報

第 44 号

(令和3年度実績)

石川県こころの健康センター

- 2022 -

目 次

I こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

II 令和3年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付	8
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
(3) 精神医療審査会	11

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助	13
(2) 教育研修	15
(3) 普及啓発	17
(4) 精神保健福祉相談	20
(5) 組織育成	30
(6) ひきこもり社会参加復帰支援事業	33
(7) 依存症関連問題指導事業	37
(8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	40
(9) 自殺予防対策推進事業	41
(10) 子どもの心のケア推進事業	44
(11) 精神障害者地域生活支援事業	50

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援	51
(2) 精神科医による相談事業	54
(3) 青年期グループ活動	55
(4) 就労者グループ活動	55
(5) 親のつどい	55
(6) 関係機関等との調整会議	55
(7) 機関コンサルテーション	56

(8) 個別支援のための調整会議	57
(9) 普及啓発及び研修	58

Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問）	64
2 普及啓発活動	68
3 関係機関・団体との連携	70
4 集団活動	72
5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧	73

I こころの健康センター概要

1 沿 革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが石川県中央児童相談所より移管される。
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウンセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。
ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）を開始する。
ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業を開始する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。
ひきこもり家族交流会を開始する。

- 平成 14 年 10 月 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
- 平成 17 年 4 月 発達障害支援センターが設置される。
- 平成 18 年 4 月 親子通所センターが閉所される。(訓練課を廃止し、支援課を新設)
- 11 月 自死遺族交流会 (J 交流会) を開始する。
- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業 (CRT) を開始する。(～平成 26 年度)
- 平成 22 年 6 月 依存症教室を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。
- 平成 24 年 「かけがえのない命を守るネットワークいしかわ」を設立
- 平成 27 年 6 月 依存症家族交流会を開始する。
- 平成 27 年 7 月 依存症再発予防プログラムを開始する。
- 平成 31 年 4 月 石川県依存症相談拠点に選定される。
- 令和 3 年 2 月 「こころの相談ダイヤル」が 24 時間対応となる。

2 施設の概況

(1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

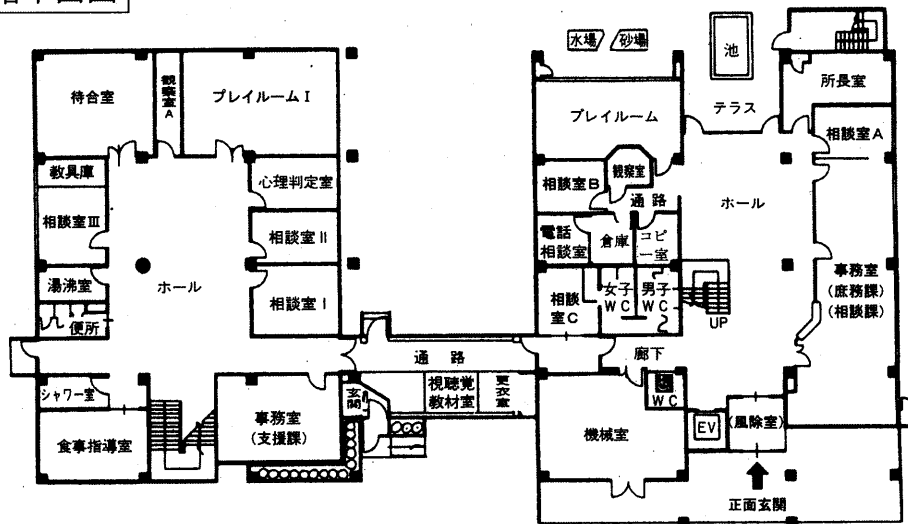
敷地 3,400.14m²

(2) 建地

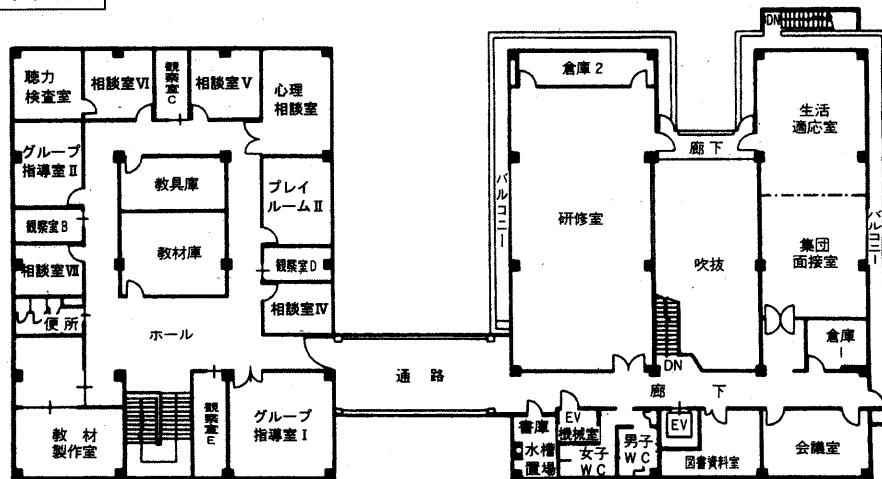
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26m²

《館内平面図》

1階平面図



2階平面図

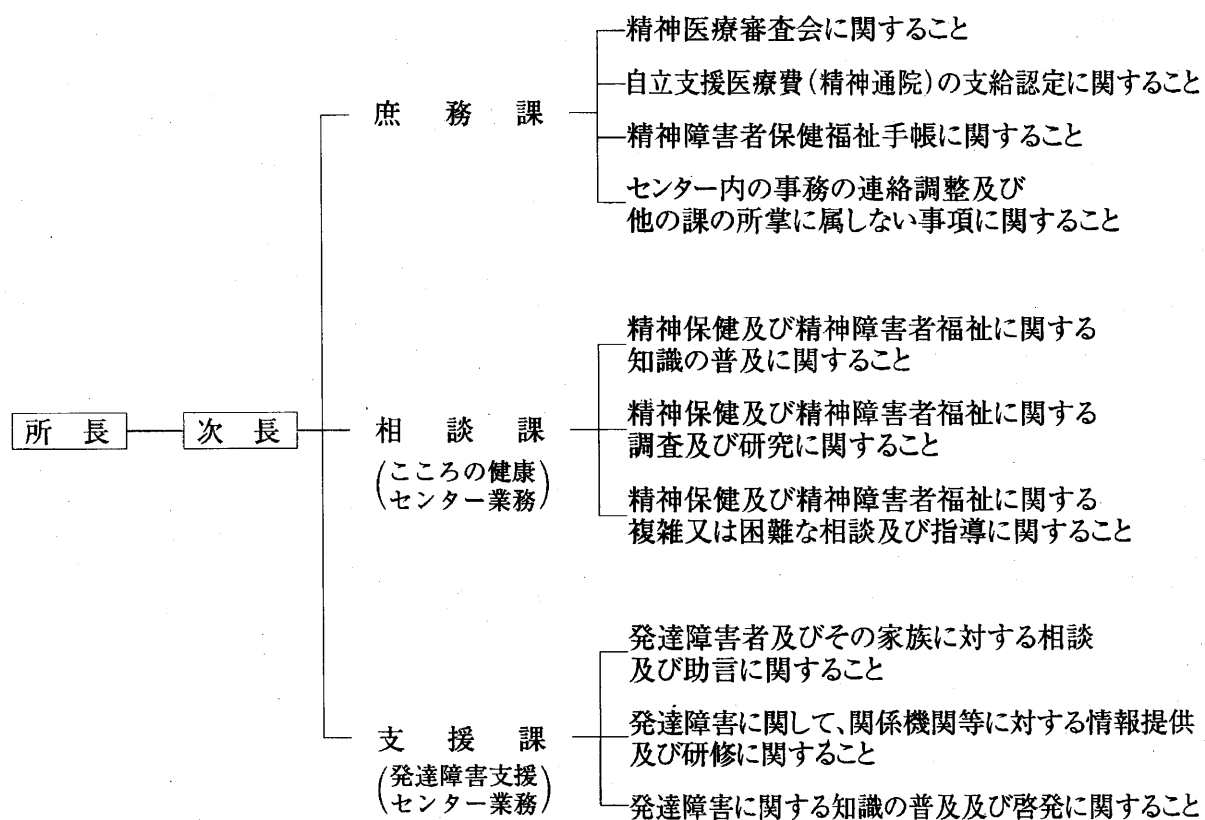


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

3 組織・機構

(1) 機構



(2) 職種別職員数

(令和4年10月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	精 神 保 健 福 祉 士	福 祉 指 導 員	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	事 務 職 員	事 務 補 助 員	計
職員	常 勤		3			2	1	5		4		15
	兼 務	1										1
	再任用(フル)							1				1
	再任用(31h)			1	1		1					3
任用 會計年度 職員	常勤的非常勤		1	1				1		1	1	5
	短時間非常勤 (29h)										1	1
	短時間非常勤 (29h未満)							1	12			13
計		1	4	2	1	2	2	8	12	5	2	39

(3) 課別職員数

(令和4年10月1日現在)

課 名	職 種	職 員				会計年度任用職員			計
		常 勤	兼 務	再任用 (フル)	再任用 (31h)	常勤的 非常勤	短時間 非常勤 (29h)	短時間 非常勤 (29h未満)	
所 長	医 師		1						1
次長兼 庶務課長	事務職員	1							1
庶務課	助 産 師				1	1			8
	事務職員	3				1			
	事務補助員					1	1		
次長兼 相談課長	保 健 師	1							1
相談課	保 健 師	1				1			21
	精神保健福祉士	2							
	福祉指導員				1				
	心理判定員	3						1	
	電話相談員							12	
支援課	保 健 師	1							7
	看 護 師				1				
	福祉指導員	1							
	心理判定員	2		1		1			
計		15	1	1	3	5	1	13	39

4 業 務

I 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

II 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

(1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をしている。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町及び関係諸機関に対し、専門的立場から、技術指導及び技術援助を実施している。

(3) 教育研修

保健所、市町及び福祉事務所、社会復帰施設その他の関係諸機関で精神保健福祉業務に従事する職員の技術的水準の向上を図るための専門的研修を実施している。

(4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識の普及を行うため、講演会の開催やパンフレット及びパネルの作成をするとともに、ビデオやDVDの貸出をしている。また、保健所、市町及び関係諸機関で開催する講演会や研修会に講師を派遣している。

(5) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族等に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じている。また、精神保健福祉相談の円滑な推進を図るための会議を開催するなど関係諸機関との連携を図っている。

(6) 組織育成

地域精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による家族会等の関係団体の育成に努め、活動を支援している。

(7) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備に努めている。

(8) ひきこもり社会参加復帰支援事業

ひきこもり対策を推進するための体制を整備し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図っている。

(9) 特定相談指導事業

アルコールや薬物などの特定相談に応じるとともに、それら関連問題の発生を予防するために、正しい知識の普及のための講演会や、当事者家族のための依存症教室や依存症再発予防プログラムを開催している。

(10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設している。

(11) 自殺予防対策推進事業

平成 19 年度に策定された「石川県自殺対策行動計画」に基づき、関係諸機関と連携し、誰もが相談しやすい窓口の設置や自殺予防講演会などの普及啓発、支援者の資質向上のための研修会の開催、未遂者支援体制整備や自死遺族のケアを行っている。

(12) 子どもの心のケア推進事業

子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指した相談対応や事例検討会、関係者育成セミナーなどを平成 20 年度から実施している。

Ⅲ 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害者支援センター業務を担い「発達障害者支援センター運営事業の実施について」（平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

Ⅱ 令和3年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

ア 制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

イ 対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

ウ 障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

エ 交付手続き

申請書に写真（上半身）と（ア）又は（イ）の書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

（ア） 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

（イ） 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

オ 審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、令和2年度は21回開催した。

カ 手帳の有効期間

2年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

キ 手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 29年度	申請	4,364	2,355	2,009	857	405	1,498	1,604	
	交付	1級	285	141	144	35	36	106	108
		2級	3,514	1,884	1,630	695	323	1,189	1,307
		3級	532	313	219	120	40	193	179
		計	4,331	2,338	1,993	850	399	1,488	1,594
平成 30年度	申請	4,556	2,299	2,257	865	437	1,434	1,820	
	交付	1級	266	121	145	37	30	84	115
		2級	3,773	1,880	1,893	701	361	1,179	1,532
		3級	495	290	205	120	41	170	164
		計	4,534	2,291	2,243	858	432	1,433	1,811
令和 元年度	申請	4,787	2,524	2,263	866	418	1,658	1,845	
	交付	1級	269	130	139	31	31	99	108
		2級	3,974	2,055	1,919	693	352	1,362	1,567
		3級	513	332	181	137	29	195	152
		計	4,756	2,517	2,239	861	412	1,656	1,827
令和 2年度	申請	4,842	2,543	2,299	841	315	1,702	1,984	
	交付	1級	304	125	179	37	37	88	142
		2級	3,986	2,062	1,924	669	244	1,393	1,680
		3級	518	345	173	129	30	216	143
		計	4,808	2,532	2,276	835	311	1,697	1,965
令和 3年度	申請	5,574	2,993	2,581	1,019	437	1,974	2,144	
	交付	1級	280	122	158	31	30	91	128
		2級	4,653	2,481	2,172	844	354	1,637	1,818
		3級	605	386	219	142	45	244	174
		計	5,538	2,989	2,549	1,017	429	1,972	2,120

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

ア 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

イ 対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

ウ 申請手続き

申請書に(ア)又は(イ)の場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

(ア) 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

(イ) 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

エ 支給認定

精神通院医療の可否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

オ 支給認定の有効期間

1年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

カ 受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況 (単位：件)

年 度	計	保 険 者 別 内 訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成29	15,988	3,233	3,276	7,185	2,059	235
平成30	16,859	3,635	3,449	7,291	2,215	269
令和元	18,135	4,068	3,704	7,868	1,781	714
令和2	18,800	4,213	3,758	7,909	2,559	361
令和3	17,771	4,096	3,590	7,472	2,341	272

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885
平成25	578	4,683	721	5,982	13,532
平成26	532	5,070	814	6,416	14,074
平成27	538	5,475	911	6,924	14,577
平成28	518	5,964	999	7,481	15,154
平成29	527	6,526	1,031	8,084	15,656
平成30	542	7,120	1,024	8,686	16,220
令和元	585	8,081	1,104	9,770	18,053
令和2	567	8,111	1,074	9,752	18,813
令和3	587	8,601	1,135	10,323	17,642

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（令和4年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	28	47	26	4	43	22	294	14	15	10
	2級	399	636	326	32	854	367	4,099	267	215	195
	3級	79	129	54	5	124	73	431	33	27	25
	計	506	812	406	41	1,021	462	4,824	314	257	230
通院		958	1,347	647	54	1,564	752	8,069	550	479	378
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	8	4	8	26	6	11	2	11	8	587
	2級	132	87	69	410	129	153	62	119	50	8,601
	3級	18	15	13	56	20	12	2	11	8	1,135
	計	158	106	90	492	155	176	66	141	66	10,323
通院		312	223	170	957	299	351	134	231	167	17,642

(3) 精神医療審査会

ア 設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

イ 審査会の業務

病院からの次の病状報告や精神障害者の退院請求等に対して入院継続の要否又は処遇の適否を審査する。

(ア) 措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者退院支援審議記録、医療保護入院者の入院届、入院診療計画書

(イ) 入院中の者又はその家族等からの退院請求又は処遇改善の請求

ウ 委員構成

委員 10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

予備委員6名（医療予備委員2名 法律家予備委員2名 有識者予備委員2名）

エ 合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ設置し、審査は月1回交互に行う。

オ 令和3年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告		医療保護入院者の定期病状報告		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成24	37	33	—	31	—	1,314	—	2,487	—	3,869	—
平成25	34	25	—	30	—	1,287	—	2,577	—	3,928	—
平成26	29	29	—	25	—	1,294	—	2,683	—	4,031	—
平成27	39	37	—	27	—	1,235	—	2,833	—	4,134	—
平成28	25	23	—	26	—	1,260	—	2,869	—	4,180	—
平成29	32	30	2	28	—	1,214	—	2,877	—	4,151	2
平成30	27	23	4	34	—	1,164	—	2,873	—	4,098	4
令和元	21	20	3	17	—	1,174	—	3,027	—	4,239	3
令和2	25	24	5	32	—	1,205	—	2,855	—	4,117	5
令和3	29	26	5	20	—	1,230	—	2,787	—	4,066	5

注)入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係機関に対し職員等を派遣するなど専門的な立場から技術援助を行っている。

令和3年度の技術援助回数は621回で、支援内容としては、関係機関との連絡調整が305回(49.1%)と一番多かった(表1)。

保健所(県保健福祉センター及び金沢市福祉健康センター、以下「保健所」とする。)には37回(6.0%)で、保健所以外の行政・教育・福祉等の関係機関には584回(94.0%)であった(表2、表3)。

表1 技術援助回数

区分	計	事例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普 及 ・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	学 生 教 育 ・ 実 習	情 報 提 供 ・ そ の 他
合 計	621	1	66	36	93	305	0	7	113

ア 保健所

令和3年度における保健所からの要請による技術援助は37回で、相談訪問指導が18回と一番多く、次いで関係機関との連絡調整が13回であった(表2)。

表2 保健所への技術援助及び技術指導回数

区分	計	事例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普 及 ・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	学 生 教 育 ・ 実 習	情 報 提 供 ・ そ の 他
南加賀保健福祉センター	11	0	7	0	1	3	0	0	0
石川中央保健福祉センター	6	0	4	0	0	0	0	0	2
能登中部保健福祉センター	2	0	1	0	0	1	0	0	0
能登北部保健福祉センター	7	0	1	0	1	5	0	0	0
金沢市福祉健康センター	11	0	5	0	0	4	0	0	2
合 計	37	0	18	0	2	13	0	0	4

イ 関係機関（保健所を除く）

令和3年度の保健所以外の行政や教育、医療機関等の関係機関への技術援助は584回で、関係機関との連絡調整が292回、次いで情報提供・その他が109回であった（表3）。

関係機関の区分別では、国・県が298回と一番多く、次いで市町への技術援助が65回、司法が59回の順になっている（表3）。

表3 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 普 及 ・ 保 健 活 動	会 議 へ の 参 画	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 支 援	学 生 教 育 ・ 実 習	情 報 提 供 ・ そ の 他
国 ・ 県	298	0	14	13	41	171	0	0	59
市 町	65	1	13	9	1	28	0	0	13
医 療	56	0	5	2	4	32	0	0	13
福 祉	13	0	5	1	0	7	0	0	0
教 育	31	0	2	5	3	5	0	7	9
労 働	5	0	1	0	0	3	0	0	1
各種精神保健団体	11	0	0	2	0	7	0	0	2
障害者支援施設等	13	0	6	0	0	4	0	0	3
司 法	59	0	2	1	42	9	0	0	5
そ の 他	33	0	0	3	0	26	0	0	4
合 計	584	1	48	36	91	292	0	7	109

(2) 教育研修

令和3年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を10回開催した。

ア 精神保健福祉医療担当者研修会

地域における精神保健福祉医療業務が円滑に推進されるように、保健福祉医療関係機関の職員で精神保健福祉の担当として初任者（2年未満）を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に研修会を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度は中止となった。

イ 石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）研修会

石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）として活動する精神科医療機関の従事者を対象に、平時から、必要な知識や活動手法やケア技術、情報伝達等の訓練により、それらを習得し、災害発生に備えた精神医療の活動体制を構築することを目的に研修会を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度は動画視聴形式とした。

ウ ひきこもり対策推進事業

（詳細は P33～36 参照）

(ア) ひきこもり対策地域ネットワーク会議 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため紙面開催としてアンケートを実施した

(イ) ひきこもり相談・支援者研修会 開催回数3回、参加者111人

エ 依存症関連問題指導事業

（詳細は P37～39 参照）

依存症教室は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止し、対象を支援者に限定して依存症研修会を開催した（開催回数1回、参加者10人）。

オ 自殺予防対策推進事業

(詳細は P41～44 参照)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| (ア) 包括的支援のための多職種事例検討会 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止 |
| (イ) ゲートキーパー指導者研修会 | 開催回数 1 回、参加者数 69 人 |
| (ウ) 救急告示医療機関職員等に対する研修会 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止 |

カ 子どもの心のケア推進事業 (詳細は P45～50 参照)

- (ア) 子どもの心の支援者研修会
- a 子どもの心の問題に携わる関係者育成セミナー
開催回数 3 回、参加者数 239 人
 - b 発達障害等早期支援関係者セミナー
開催回数 1 回、参加者数 90 人

- (イ) 子どもの心の支援者事例検討会
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

キ 精神障害者地域生活支援事業 (詳細は P50 参照)

ピアサポーター養成研修会 (開催回数 1 回、参加者数 29 人)

(3) 普及啓発

一般県民等を対象として、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発を実施した。

ア 公開講演会

- (ア) アディクション関連問題講演会（依存症関連問題指導事業（P38）に掲載）
- (イ) こころの健康づくり講演会（自殺予防対策推進事業（P41）に掲載）
- (ウ) ひきこもり公開講演会（ひきこもり対策推進事業（P36）に掲載）

イ 講師を派遣した講演会

	依頼機関名	内 容	回数	参加人数
県	石川県総務課人権推進室	コロナ差別解消研修会「コロナ禍において大切なもの」	3	87人
	石川県人事課	新任係長研修「職場のメンタルヘルス」	1	142人
	石川県障害保健福祉課	医療従事者の心のケア事業 心理士会研修	1	8人
	石川県競馬事業局	ギャンブル等依存について	1	9人
	石川県消防学校	初任教育メンタルヘルス	4	107人
	石川県市町村職員研修所	新任課長補佐	1	40人
	石川県教育委員会	不登校児童生徒への対応について	1	30人
	石川県労働委員会	メンタル不調者の理解と対応	1	21人
	石川県社会福祉協議会	生きづらさ・働きづらさを抱える方への支援について	1	28人
市町	加賀市健康課	SOSの出し方に関する教育	2	191人
	加賀市健康課	自殺予防勉強会	1	35人
	白山市職員課	ゲートキーパー研修	1	80人
	白山市障害福祉課	コロナ禍のメンタルヘルス	1	40人
	白山市鶴来保健センター	白山市健康づくり推進員研修会「新型コロナウイルス感染症とこころのケア」	1	29人
	能美市いきいき共生課	ゲートキーパー講座	1	20人
	津幡町地域包括支援センター	精神障害のある高齢者について	1	28人
	長田地区民生委員児童委員協議会	ゲートキーパー研修	1	20人

	依頼機関名	内 容	回数	参加人数
教 育	板津中学校	ゲートキーパー講座	1	23 人
	金沢医科大学	ゲートキーパー講座	1	11 人
国	金沢保護観察所	薬物依存について	1	9 人
そ の 他	金沢こころの電話	コロナ禍における自殺防止と現状	1	40 人
	子ども夢フォーラム	チャイルドライン受け手養成講座	1	15 人
計			28	1013 人

ウ 自殺予防街頭キャンペーン (詳細は P41 参照)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度は中止となった。

エ 障害者ふれあいフェスティバルにおける福祉相談コーナーの設置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度はオンライン開催となり、福祉相談コーナーの設置はしなかった。

オ 普及啓発資料

こころの健康センターの事業の紹介や精神保健の動向について発行した。

媒 体	内 容	発行部数
センター だより	第 92 号 特集「子どもの心に寄り添う」	1000 部
講演録	令和 3 年度こころの健康づくり講演会 「子どもは生きものという当たり前のこと」	150 部

カ 普及啓発教材の貸出

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っている。令和 3 年度は依頼がなかった。

キ 関係機関情報の作成

石川県内の精神保健福祉に関する社会資源の情報をまとめ、ホームページに掲載した。

アドレス <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/shiryou.html>

(4) 精神保健福祉相談

令和3年度の精神保健福祉相談延件数は、20,215件で、電話相談が18,661件(92.3%)、来所相談が1,554件(7.7%)であった。来所相談の初回相談は368件であった。そのうち新来相談は268件であった。また訪問等は、166件実施した。(表1、表2)。

性別では、「男」が10,349件(51.2%)、「女」が9,866件(48.8%)であった(表1)。

年齢別では、「50～59歳」が5,505件(27.2%)と最も多く、次いで「30～39歳」が4,126件(20.4%)、「40～49歳」が3,538件(17.5%)となっている(表3、図1)。

相談区分では、「心の健康づくり」が11,043件(54.6%)で最も多く、次いで「社会復帰」が5,250件、「その他」が1,659件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、ひきこもりが714件と最も多く、次いで自殺関連が410件となっている(表4)。

ア 電話相談

電話相談は、当センターへの電話相談及び専用電話「こころの相談ダイヤル」への相談を合わせたもので、令和3年度の相談件数(延件数)は18,661件であり、性別で見ると男性9,276件(49.7%)、女性9,385件(50.3%)と、女性の方が109件多かった(表1)。

年齢別では、「50～59歳」が5,378件(28.8%)と最も多く、次いで「30～39歳」が3,702件、「40～49歳」3,347件の順であった(表3、図1)。

相談区分別では、「心の健康づくり」が10,254件(54.9%)で最も多く、次いで「社会復帰」が5,025件、「その他」が1,659件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、「自殺関連」が267件(1.4%)と最も多く、次いで「ひきこもり」が253件であった(表4)。

内容別相談件数では「日常生活に関する心配・不安」が5,929件(31.8%)と最も多く、次いで「家庭内の問題」2,018件(10.8%)、「仕事・職場の悩み」1,796件(9.6%)の順であった(表6、図2)。

電話相談における対応状況としては、「傾聴・助言」が17,662件(94.6%)と最も多く、次いで「他機関紹介」が557件(3.0%)、「来所相談の勧奨」が251件(1.3%)であった(表7)。

イ 来所相談

来所相談は、原則として予約制で、相談課職員が対応しており、必要に応じ所長または嘱託医(精神科医・小児科医)の診察を実施している。

令和3年度の来所相談件数（延）は1,554件であった（表1）。

年齢別では、「30～39歳」が424件（27.3%）と最も多く、次いで「20～29歳」が361件、「20歳未満」が335件の順であった（表3、図1）。

相談区分別では、「心の健康づくり」が789件（50.8%）で最も多く、次いで「社会復帰」が225件「思春期」が158件の順であった。相談区分をキーワードにより再掲（複数回答）すると、「ひきこもり」が461件（29.7%）と最も多く、次いで「発達障害」が270件であった（表4）。

内容別相談件数では、「ひきこもり」が367件（23.6%）と最も多く、次いで「性格・行動上の悩み」305件で、「日常生活に関する心配・不安」が167件の順であった（表5、図2）。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が103件（38.4%）と一番多い。次いで「医療機関（一般科）」が134件、「県庁・市町役場」が8件の順であった（表7）。

来所相談における対応状況としては、「助言」が1,312件（84.4%）と最も多かった。来所者への診察は54件（うち「診断書発行」は1件）、検査は22件を実施している（表8）。また相談結果の紹介先として、「医療機関（主に精神科）」が3件であった（表9）。

来所相談における診断状況をみると、「不明（医師の診察を受けていない）」が798件（51.4%）で、半数以上を占めていた。診断された方は、「気分（感情）障害」が194件（12.5%）と最も多く、次いで「心理的発達の障害」が142件（9.1%）、「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」が85件（5.5%）の順であった（表10）。

表1 精神保健福祉相談実施状況

	男		女		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
電話相談	9,276	49.7%	9,385	50.3%	18,661	100%
来所相談	1,073	69.0%	481	31.0%	1,554	100%
初回相談	197	53.5%	171	46.5%	368	100%
新来	121	45.1%	147	54.9%	268	100%
継続相談	876	73.9%	310	26.1%	1,186	100%
計	10,349	51.2%	9,866	48.8%	20,215	100%

※件数は延件数

※新来は初めて来所したもの

表2 精神保健福祉相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計	訪問指導
H29	7,728	1,259 (159)	8,987	7
H30	6,991	1,219 (190)	8,210	18
R1	8,355	1,339 (150)	9,694	30
R2	9,781	1,229 (333)	11,010	109
R3	18,661	1,554 (268)	20,215	166

注：（ ）は内数で新来相談件数

※件数は延件数

※訪問指導は来所相談の内数

表3 年齢別相談件数

年齢区分	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談		件数	%
	件数	%	件数	%		
20歳未満	350	1.9%	335	21.6%	685	3.4%
20～29歳	2,334	12.5%	361	23.2%	2,695	13.3%
30～39歳	3,702	19.8%	424	27.3%	4,126	20.4%
40～49歳	3,347	17.9%	191	12.3%	3,538	17.5%
50～59歳	5,378	28.8%	127	8.2%	5,505	27.2%
60～69歳	2,162	11.6%	58	3.7%	2,220	11.0%
70～79歳	206	1.1%	15	1.0%	221	1.1%
80歳以上	40	0.2%	0	0%	40	0.2%
不 明	1,142	6.1%	43	2.8%	1,185	5.9%
合 計	18,661	100.0%	1,554	100.0%	20,215	100.0%

※件数は延件数

図1 精神保健福祉相談における年齢別内訳

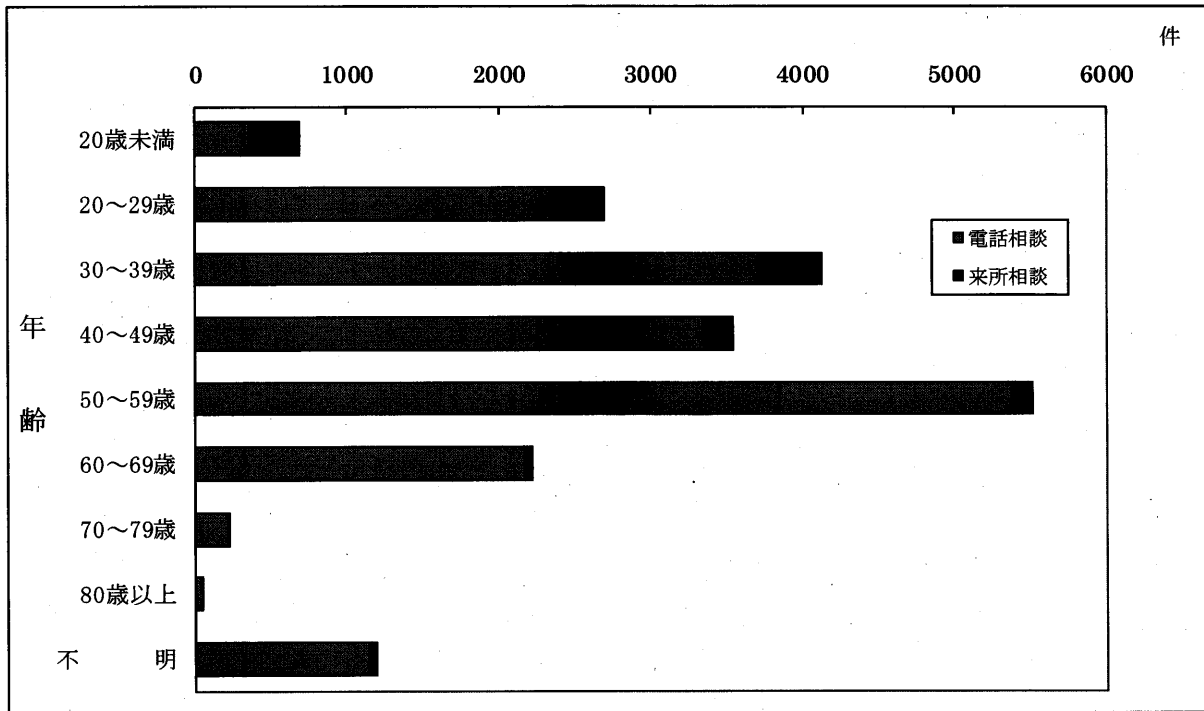


表4 相談区分別内訳

相談区分	令和3年度				令和2年度	
	電話相談	来所相談	(新来)※	合計	相談合計	
老人精神保健	91	0	0	91	67	
社会復帰	5,025	225	17	5,250	4,620	
アルコール	59	10	4	69	70	
薬物	15	12	1	27	10	
ギャンブル	55	133	16	188	164	
ゲーム	20	15	2	35	34	
思春期 ※※	198	158	26	356	330	
心の健康づくり	10,254	789	183	11,043	4,146	
うつ・うつ状態	1,263	113	5	1,376	732	
摂食障害	20	0	0	20	11	
てんかん	2	0	0	2	9	
その他	1,659	99	14	1,758	817	
計	18,661	1,554	268	20,215	11,010	
再掲 (*)	ひきこもり	253	461	21	714	696
	発達障害	128	270	17	398	465
	自殺関連	267	143	17	410	254
	(再)自死遺族	30	86	4	116	35
	犯罪被害	2	1	1	3	3
	災害	0	0	0	0	0

注：メール相談を除く

※ 来所相談の（新来（初めて来所したもの））は内数

※※思春期は、12歳～18歳の者

* 再掲は、複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上

表5 内容別相談件数

相談内容	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談		件数	%
	件数	%	件数 (実)	%		
発達上の問題	66	0.3%	29 (7)	1.9%	95	0.5 %
不登校・学校不適応	128	0.7%	125 (16)	8.0%	253	1.3 %
ひきこもり	231	1.2%	367 (43)	23.6%	598	3.0 %
非行・反社会的問題	18	0.0%	2 (1)	0.1%	20	0.1 %
暴力	216	1.2%	158 (24)	10.2%	374	1.9 %
家庭内の問題	2,018	10.8%	22 (15)	1.4%	2,040	10.1 %
出産・育児上の悩み	60	0.3%	0 (0)	0.0%	60	0.3 %
更年期の悩み	10	0.0%	0 (0)	0.0%	10	0.0 %
高齢者の問題	107	0.6%	0 (0)	0.0%	107	0.5 %
仕事・職場の悩み	1,796	9.6%	58 (22)	3.7%	1,854	9.2 %
身体上の悩み	570	3.1%	3 (2)	0.2%	573	2.8 %
摂食障害	22	0.1%	0 (0)	0.0%	22	0.1 %
性格・行動上の悩み	923	4.9%	305 (38)	19.6%	1,228	6.1 %
対人関係上の悩み	1,197	6.4%	15 (5)	1.0%	1,212	6.0 %
アルコール問題	58	0.3%	10 (5)	0.6%	68	0.3 %
薬物問題	16	0.0%	12 (2)	0.8%	28	0.1 %
ギャンブル問題	58	0.3%	133 (23)	8.6%	191	0.9 %
アルコール・薬物・ギャンブル以外の依存	74	0.4%	39 (7)	2.5%	113	0.6 %
性についての悩み	44	0.2%	21 (1)	1.4%	65	0.3 %
日常生活に関する心配・不安	5,929	31.8%	167 (134)	10.7%	6,096	30.2 %
神経症	89	0.5%	1 (1)	0.1%	90	0.4 %
精神障害への不安	937	5.0%	8 (1)	0.5%	945	4.7 %
病気の治療上の問題	490	2.6%	12 (2)	0.8%	502	2.5 %
社会復帰・デイケアの問題	779	4.2%	42 (12)	2.7%	821	4.1 %
精神障害者への対応	575	3.1%	8 (1)	0.5%	583	2.9 %
精神障害者の生活上の問題	1,328	7.1%	0 (0)	0.0%	1,328	6.6 %
情報提供	71	0.4%	0 (0)	0.0%	71	0.4 %
その他	851	4.6%	17 (6)	1.1%	868	4.3 %
合計	18,661	100%	1,554 (368)	100%	20,215	100 %

件数は延件数(実件数)

図2 内容別相談件数

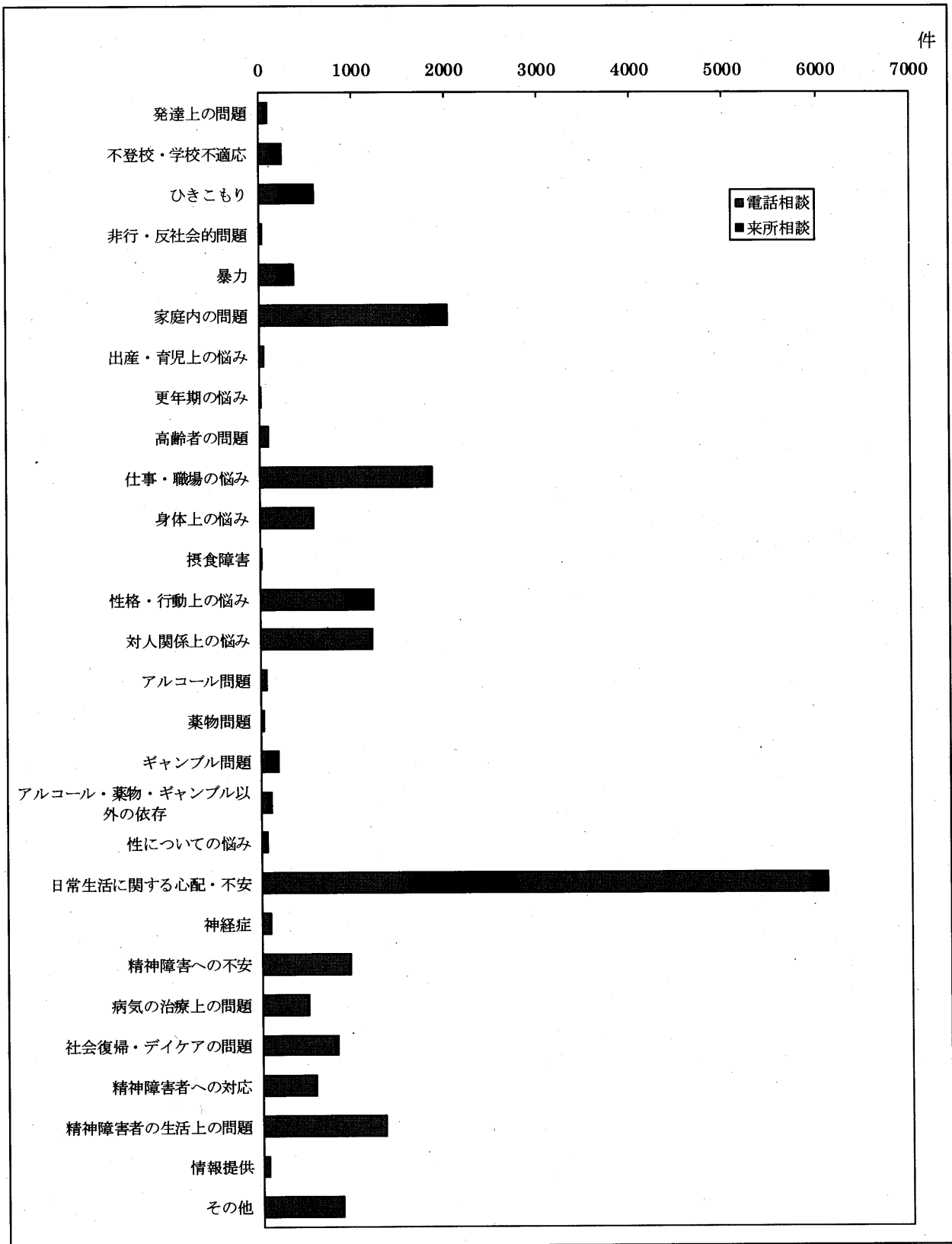


表6 電話相談における対応状況

区分	傾聴・助言	来所相談勧奨	他機関紹介	その他	再連絡	合計
件数	17,662	251	557	191	0	18,661
%	94.6%	1.3%	3.0%	1.0%	0.0%	100%

件数は延件数

表7 新規来所相談における来所経路

経路	性別	男	女	合計
直接（ホームページ等含む）		71	32	103
医療機関（精神科）		1	0	1
医療機関（一般科）		30	104	134
保健所		2	1	3
児童相談所		1	0	1
福祉事務所		0	0	0
児童・民生委員		0	0	0
施設・学校		3	3	6
ハローワーク （職業安定所・ジョブカフェ石川）		1	1	2
警察		0	0	0
県庁・市町役場		5	3	8
その他の相談機関		2	2	4
こころの相談ダイヤル		0	1	1
その他の電話相談		0	0	0
その他		5	0	5
合計		121	147	268

件数は実件数

表8 来所相談における対応状況

対応状況	来所者区分	初 回 相 談 (実件数)		継 続 相 談 (延件数)	合 計
			新 来		
助 言 ・ 継 続 面 談		222 ^件	136 ^件	1,090 ^件	1,312 ^件
診 察		13	10	41	54
	(内) 診 断 書 発 行	0	0	1	1
検 査 等 ※		3	0	19	22
訪 問		130	122	36	166
合 計		368	268	1,186	1,554

※ 知能・心理検査、検査結果の説明などを行ったもの

表9 来所相談における関係機関への紹介先

紹介先	来所者区分	初 回 相 談 (実件数)		継 続 相 談 (延件数)	合 計
			新 来		
医 療 機 関		2 ^件	2 ^件	1 ^件	3 ^件
保 健 所		0	0	0	0
福 祉 機 関		0	0	0	0
教 育 機 関		0	0	0	0
そ の 他		0	0	3	3
合 計		2	2	4	6

表 10 来所相談における診断状況

診断名	来所者区分		継続相談 (延件数)	合計	
	初回相談 (実件数)	新 来			
症状性を含む器質性精神障害	0 件	0 件	0 件	0 件	0.0 %
精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	1	0	4	5	0.3
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	7	2	23	30	1.9
気分（感情）障害	56	38	138	194	12.5
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	14	7	71	85	5.5
生理的障害及び身体的要因に関連し た行動症候群	0	0	0	0	0.0
成人の人格及び行動の障害	6	3	34	40	2.6
知的障害（精神遅滞）	3	2	27	30	1.9
心理的発達の障害	18	7	124	142	9.1
小児期及び青年期に通常発症する 行動及び情緒の障害	2	2	1	3	0.2
神経疾患等	4	4	2	6	0.4
てんかん	0	0	0	0	0.0
診断保留	24	9	197	221	14.2
不明	233	194	565	798	51.4
合計	368	268	1,186	1,554	100.0

(5) 組織育成

令和3年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、石川県精神保健福祉家族会連合会、石川県精神障害者支援事業所連絡会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会、石川県精神保健福祉協会、依存症関連自助グループの各団体である。

それぞれに対する支援の回数、参加人数は表1のとおりである。

表1 協力組織への支援

対 象	回 数
石川県精神保健福祉家族会連合会	14
石川県精神障害者支援事業所連絡会	5
石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会	4
石川県精神保健福祉協会	
依存症関連自助グループ	40
合 計	

ア 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神保健福祉家族会連合会 (石家連)

精神障害者家族会は、昭和48年から石川県内の保健所単位に地域家族会が結成され、昭和49年2月に10家族会による連合会が発足した。令和2年4月より名称を石川県精神保健福祉家族会連合会に変更した。病院家族会の参加や地域家族会の統合等により、令和3年度は、9家族会で、会員は99名である。

石家連への支援は、各理事会、精神障害者家族会と行政との懇談会など、計12回の支援を行った。

令和3年度はコロナ禍の中、総会、病院長との懇談会が中止となり、常務理事会や理事会が縮小された。

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて助言支援を行っている。

イ 石川県精神障害者支援事業所連絡会

平成5年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、活動を行ってきた。作業所数が大幅に増加したことから、平成8年5月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡会が発足し、月1回の例会等の活動を行っている。令和3年度は、12ヶ所の精神障害者支援事業所が参加している。当センターからは、総会や定例会の会場提供や出席を通して、活動を支援している。

ウ 石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会

昭和63年に当センターでメンタルヘルスポランティア講座が開催され、各グループによる積極的な活動が行われてきた。平成11年に連絡会が開催され、平成13年度には「石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会」が発足。令和3年度には6グループが活動している。当センターからは、総会での会場提供や出席を通して、活動を支援している。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和35年10月に石川県精神衛生協会が結成され、平成3年6月、名称を石川県精神保健協会、平成10年6月に石川県精神保健福祉協会と改めている。令和3年4月1日現在の会員は、個人会員303名、団体会員27団体、特別会員12病院となっている。

表2 精神保健福祉協会への支援

期 日	内 容	対 象	人 数
R3. 11. 20 ~ R4. 3. 19 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、 職域等の団体	2回 49人
R3. 4. 1 ~ R4. 3. 31 まで	〃 関係事務	〃	3回 3人
R3. 5. 6	表彰審査委員会(オンライン開催)	委員	6人
R3. 5. 18	理 事 会 (オンライン開催)	理事、監事	13人
R4. 3. 4	〃 (オンライン開催)	〃	14人
R3. 6. 26	総 会 (書面表決結果報告)	全会員	書面表決 167人
	精神保健講演会 演題:「コロナ禍のこころのケアと自殺対策」 (オンデマンド配信)	会員、一般	オンデマ ンド配信 視聴者
R3. 9. 11	精神保健福祉研修会 演題:「子どものいのちを守る」 ～私たちにできること～ ミニ対談: 中村桂子氏×高木眞理子氏 (オンライン開催)	関係機関職員、 保健所、一般	45人
R4. 2. 10	第4回精神保健福祉フォーラム(精神保健福祉研究会) テーマ「こころの傷を抱えた人を支えるため に必要なこと」 (オンデマンド配信)	関係機関職員、 保健所、一般	オンデマ ンド配信 視聴者
R4. 1. 27	産業と精神保健専門委員会 「産業保健関係者、企業経営者、人事労務担 当者が知っておきたいギャンブル依存症」 (オンライン開催)	関係機関職員、 一般	オンデマ ンド配信 視聴者
R4. 2. 23	教育と精神保健専門委員会研修会 演題:「ウィズ/ポスト・コロナ時代の子ど もたちのこころとからだ」 (オンデマンド配信)	関係機関職員、 教育関係者、 一般	オンデマ ンド配信 視聴者
R4. 3. 5	地域精神保健専門委員会講演会 演題:「発達障害とゲーム・ネット・スマホ」 ～デジタル機器との付き合い方を考 える～ (オンライン開催)	関係機関職員、 教育関係者、 一般	95人
R4. 3. 1	会報編集委員会(オンライン開催)	委員等	3人

計15回 395人(ほかオンデマンド配信視聴者)

オ 依存症関連自助グループ

令和3年度における、当センターが把握している依存症関連自助グループは、アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害、ACなどに関する24グループである。活動に関する周知協力や、情報交換、ミーティングへの参加などを通して活動を支援している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためミーティングの開催が中止となったため支援回数が減少した。

(6) ひきこもり対策推進事業

平成13年4月から、青年期におけるひきこもりや不登校を対象として事業が開始され、平成21年度からは、ひきこもり地域支援センター事業を兼ねて実施している。

地域の保健所や関係機関と連携を図りながら、個別相談や家族交流会、ひきこもり当事者グループ活動、必要に応じて関係機関への訪問等の活動を行った。

また、平成26年度から「ひきこもりサポーター養成研修」を実施し、保健所等への派遣を行っている。令和2年度より、ひきこもり支援に関する研修会や、一般向けの公開講演会を実施している。市町、保健所への技術的な援助として、ひきこもり支援専門職チームの派遣も行った。

ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日は設けず、随時相談に応じている。

表1 ひきこもり相談件数

区 分	延件数
電 話 相 談	253 件
来 所 相 談	459 件
訪 問 等	2 件
メ ー ル へ の 対 応	1 件
合 計	715 件

イ ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）活動

ひきこもっている若者たちが安心して過ごせる「居場所」を確保し、同じ悩みをもつ仲間との交流体験を通して、孤独感の軽減、対人関係の改善や社会性の向上、ひきこもりや社会不適應からの脱却を図るために実施した。

日 時：毎週木曜日 13：30～15：30

回 数：年24回（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止の期間あり）

内 容：スポーツ、散策、ゲームなど、参加者が話し合いによって決める。

対 象：概ね18歳以上のひきこもり状態の方

参加数：実人数10人（男性9人女性1人）延べ61人

ウ ひきこもり家族交流会

ひきこもり問題に悩む家族がその経験や思いを共有することで、孤立感を和らげるとともに、それぞれが抱える問題への対応能力を向上するために、交流会を開催した。

日 時：年5回土曜日 13:30～15:30

内 容：①ウォーミングアップ（気分調べ）②ワーク（初回のみ講義）③感想

対 象：当センターで個別相談を継続している家族、及び「ひきこもり家族教室」や「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族

表2 開催状況

開催日	テーマ	参加数
令和3年6月19日	「ひきこもり状態の理解について」及び話し合い	7家族8名
平成30年10月9日	本人の行動について整理しましょう	2家族2名
令和3年12月11日	ポジティブなコミュニケーションスキルについて	2家族3名

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため2月、8月は開催中止となった。

エ ひきこもり対策地域ネットワーク会議

ひきこもり相談支援に関する連携が効果的かつ適切に機能することを目的に、関係機関による連絡会及び講演会を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、紙面開催としてアンケートを実施した。

オ ひきこもりサポーター養成研修

ひきこもり経験のある当事者や家族が自らの経験を生かしてひきこもりに悩む当事者や家族の支援をする、「ひきこもりサポーター」を養成するとともに、研修終了後、行政機関や団体等が行う相談や支援等にひきこもりサポーターとして活動することを希望する者を登録しているが、令和2年度に引き続き養成研修会の開催は中止とした。

カ ひきこもりサポーター派遣

保健所等が開催するひきこもり教室等において、ひきこもり家族や支援者が、その経験を聞き対応等を学ぶために、登録したひきこもりサポーター(当事者または家族)を派遣した。(表3)

表3 ひきこもりサポーターの派遣状況

派遣先	当事者		家族	
	回数	人数	回数	人数
能登北部保健福祉センター	1回	1人	-	-
こころの健康センター	2回	2人	-	-
計	3回	3人	-	-

キ ひきこもりサポーターフォローアップ研修

登録しているひきこもりサポーターを対象に、活動上の不安の解消、実際の活動に関する情報の共有、サポーター同士の繋がり強化を図るために研修会を例年開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に引き続き中止となった。

ク ひきこもり相談・支援者研修会

ひきこもりの相談対応に必要な知識及び基本的な姿勢について習得し、ひきこもり本人・家族への支援が適切に行える人材を養成するため、オンライン研修を開催した。

実施日	内容	講師	人数
令和3年11月12日 10:00~15:00	講義：ひきこもりの人と家族をとりまく環境と必要なケアについて	白梅学園大学 教授 長谷川 俊雄氏	46人
令和3年12月1日 13:30~15:50	講義：ひきこもりの理解と対応	鳥取県立精神保健福祉センター 所長 原田 豊氏	36人
令和4年1月14日 14:00~16:00	講義①居場所づくりとその支援 講義②ひきこもり当事者による体験談発表 講義③日頃の実践で感じていること	講義① つなぐ会花園 吉本 真悟氏 講義② ひきこもりサポーター1名 講義③ KHJいまここ親の会 林昌則氏	29人

ケ ひきこもり公開講演会

ひきこもり状態の方の感じている生き辛さや葛藤について正しく理解し、地域として支える姿勢を学ぶことを目的に開催した。

日 時：令和3年12月13日 14:00～16:00

テーマ：「ひきこもり本人の気持ちの理解と社会のかかわりについて」

講 師：一般社団法人 ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子氏

対 象：ひきこもりでお悩みの本人、家族、支援者、民生委員等を含む一般県民

参加者：61名

開催方法：ZOOM を利用したオンラインによる開催

コ ひきこもり支援専門職チーム派遣事業

令和2年度より精神科医等によるひきこもり支援専門職チームを設置。

地域での処遇困難事例に対しての検討会の実施や、対象者への自宅訪問等による直接的な支援を行う。令和3年度は依頼がなかったため実施していない。

(7) 依存症関連問題指導事業

ア 特定相談指導

表1 相談指導状況

区 分	来 所 相 談			電話相談	その他 (メール・ 手紙)
	計	男	女		
アルコール問題	10 (5)	10 (5)	0 (0)	39	2
薬 物 問 題	12 (2)	12 (2)	0 (0)	13	0
ギャンブル問題	133 (23)	121 (22)	12 (1)	45	2
アルコール・薬物・ギャンブル以外	39 (7)	29 (6)	10 (1)	43	1
計	194 (37)	172 (35)	22 (2)	140	5

件数は延人数（カッコ内は実人数）

イ 依存症教室・依存症研修会

依存症当事者、家族、支援者を対象とした依存症教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

対象を支援者に限定し、依存症への適切な対応や支援を行えることを目的に、依存症研修会を開催した。

開催日：令和4年2月28日（月） 10:00～15:00

講 師：島根県立心と体の相談センター 佐藤 寛志氏（主任精神保健福祉士）

内 容：「ギャンブル障がいの基礎知識とSAT-Gを用いた支援」

参加者：精神保健、医療、司法関係職員 10名

開催方法：ZOOMを利用したオンラインによる開催

ウ 事例検討会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ アディクション関連問題講演会

依存症に対する理解を深め、対応を学ぶことを目的に、公開講演会を開催した。

開催日：令和4年3月13日（日）

講師：藍里病院副院長 吉田 精次氏（医師）

内容：講演「依存症のことを知ろう ～本人、家族にできること～」

参加者：一般県民、当事者、家族、保健・医療・福祉・司法関係職員 34人

開催方法：ZOOMを利用したオンラインによる開催

オ 依存症家族交流会（サンサンの会）

アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族が、適切な理解と対応を学び、同じ立場で分かち合える場として、平成27年度から家族交流会を開催している。

対象及び人数：アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族（実3人、延5人）

内容：書籍『アルコール・薬物・ギャンブルで悩む家族のための7つの対処法 CRAFT』を用い、読み合わせとワーク、分かち合いを行う。

表3 サンサンの会の開催内容

回	テーマ
第1回	コミュニケーションを変える（※中止）
第2回	望ましい行動を増やす
第3回	イネイブリングをやめるとは
第4回	あなた自身の生活を豊かにする（※中止）

* 4回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため第1回、第4回は中止となり2回開催

カ 依存症再発予防プログラム（いしかわ〜ぶ）

アルコール、薬物依存症の当事者が、回復に向けて具体的かつ効果的に取り組むことを目的として、平成27年度から開始した。令和3年度は、集団プログラムを1クール8回セッションで年3クール開催した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため9回中止となり計15回開催。）

対 象：アルコールや薬物の使用について困っている本人で、その使用を止めたいと願う者

参加人数：実1人、延べ2人

内 容：テキスト「いしかわ〜ぶ」（ISHIKAWA mental health center Relapse Prevention Program）を使用した集団プログラム

1クールにつき2回、富山ダルク職員にリカバリングスタッフとして出席を依頼した。

表4 いしかわ〜ぶ各回のテーマ

回	テーマ
第1回	(1) アルコールや薬物が脳に与える影響 (2) 引き金と渴望
第2回	(1) 思考停止法 (2) 外的な引き金と内的な引き金
第3回	(1) 回復の地図 (2) 回復初期によく起こる問題とその解決方法
第4回	自助グループー信頼・正直さ・仲間
第5回	(1) 思考・感情・行動 (2) アルコールについて考える
第6回	(1) 再使用を防ぐためにーその1ー (2) 再使用を防ぐためにーその2ー
第7回	再使用を防ぐためにーその3ー
第8回	強くなるより賢くなろう

(8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成 13 年 10 月の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)の施行に先立ち、平成 13 年 4 月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

ア DV相談件数

表 1 DV個別相談件数

区 分		計	電話相談	来所相談
DVに関する相談件数		467件	35件	115件(17)
うちDV抑止に関する相談		249件	141件	108件(17)
相 談 者 内 訳	加 害 男 性	212件	109件	103件(14)
	加 害 女 性	11件	7件	4件(2)
	被 害 女 性	25件	24件	1件(1)
	被 害 男 性	1件	1件	0件(0)
	加害男性の家族等	0件	0件	0件(0)
	被害女性の家族等	0件	0件	0件(0)
	そ の 他	0件	0件	0件(0)

※ () は実件数

(9) 自殺予防対策推進事業

ア 自殺予防に向けた普及啓発の充実

(ア) 自殺予防街頭キャンペーン等 ※実施なし

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年、9月10日から16日までの一週間で「自殺予防週間」として設定し、県民に自殺予防の呼びかけやうつ病等の精神疾患に対する正しい知識や相談窓口等の周知について普及啓発することを目的に該当キャンペーンを例年開催していたが、R3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施しなかった。

(イ) 講演会

日時 令和3年9月11日(土) 13:30~16:00
講師 中村 桂子 氏 (JT 生命誌研究館名誉館長)
内容 講演:「子どもは生きものという当たり前のこと」
ミニ対談・質疑応答
講師:中村 桂子 氏 (JT 生命誌研究館名誉館長)
高木 眞理子 氏 (子ども夢フォーラム 代表)
参加者 一般県民 45人

イ 自殺予防のための相談・支援の充実

(ア) 民間団体との連携会議

自殺予防週間や月間事業の一環として、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ(以下の民間団体:石川県宗教連盟、NPO ささえる絆ネットワーク北陸、NPO しあわせの輪グループ、NPO 法人金沢あすなろ会、NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、子ども夢フォーラム、一般財団法人メンタルケア協会石川事務所、ひまわりの会)と県が連携し、自殺対策に向けて事業の計画検討や情報交換を行った。

回数	日時	内容	団体数及び参加数
1回	4月9日	自殺予防週間関連講演会の事業計画 検討	7団体 10人
2回	4月30日		8団体 11人
3回	6月24日		4団体 7人
4回	11月11日		6団体 7人
5回	3月24日		5団体 7人

(イ) 包括的支援のための多職種事例検討会 ※実施なし

平成26年度から自殺のさまざまな要因に関連が深い分野の専門家や支援者等多くの職種が、事例を通して支援のあり方を共有し連携して支援する仕組みを例年検討していたが、R3年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施しなかった。

ウ こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

(ア) ゲートキーパー養成等事業

地域の中で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるゲートキーパーの役割を担う人を育成し、自殺予防につなげることを目的とする。

a ゲートキーパー指導者研修会

地域において、自殺防止対策のリーダーとして活動できる人材を養成するとともに、これまで養成したゲートキーパーリーダーの更なる資質の向上のため研修会を開催した。

日時：令和4年3月2日（金）9：00～12：00

講師：こころの健康センター所長・精神科医 角田 雅彦

内容：講演「ゲートキーパー指導者にとって大切なこと」

参加者：行政機関の自殺対策担当者、生活困窮者自立支援担当者、
教育関係機関の担当者、他関係機関の担当者 69人

b ゲートキーパー出前講座（※）

講師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

実施：17か所 対象者計：769名

※「(3) 普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」に詳細を記載

(イ) 若い世代のこころの健康づくり事業

高校生や専門学校生等を対象にした自殺予防のためのこころの健康教育、ゲートキーパー研修等を実施した。

実施日	対象	参加数
R4.9.24	金沢医科大学（学生）	11人

エ 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

例年、自殺未遂者の再企図の防止や、自殺未遂者の心理面に配慮した対応の理解と普及を目的に、精神科医療や地域の支援につなぐための連携や体制の構築に向けた研修会や事例検討会等を実施している。

(ア) 自殺予防対策講演会

R3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、研修会等は開催しなかった。

オ 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

(ア) 自死遺族交流会（J交流会）

家族を自死（自殺）で亡くした方達が、苦しい気持ちの語り合いや傾聴、互いを支え合う場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時：奇数月第1土曜日 14:00～16:00

場 所：金沢市内

回 数：4回（9月、令和4年3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

参加数：実11人 延べ28人

(イ) 自死遺族の会立ち上げへの支援

県内で新たに自死遺族の会を立ち上げる団体に対し、相談対応・支援を行った。

(10) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な発達への支援と、地域で安心して継続的な相談ができる体制の構築を目的として、平成20年度から「いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業」を開始し、平成24年度からは「子どもの心のケア推進事業」として事業を行っている。

ア 子ども心のケア相談事業

電話や来所面接による個別相談を通じ、子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援を受けられる機関を紹介するなどコーディネート機能を実施した。

(ア) 電話相談実績

表1 電話相談件数と相談者の内訳

年代	延件数	相談者内訳		
		父	母	その他 (**)
幼 児	2	0	2	0
小学生	55	3	45	7
中学生	60	16	36	8
高校生	95	9	50	36
その他 (*)	30	1	24	5
計	242	29	157	56

その他 (*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他 (**): 本人、祖父母、学校等

表2 電話相談内容(延)

	発達上の問題	不登校・ひきこもり	非行・暴力	家庭内の問題	出産・育児上の悩み	身体上の悩み	摂食障害	性格・行動上の悩み	対人関係の悩み	依存関係	性についての悩み	日常生活の不安	病気の不安等	情報提供・その他	計
幼児	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小学生	11	16	0	5	2	1	0	8	0	2	0	4	4	2	55
中学生	5	16	1	11	0	0	0	4	0	12	0	3	3	5	60
高校生	4	37	4	8	1	3	2	2	2	2	2	13	1	14	95
その他		11	2	4	0	0	0	3	0	0	0	5	3	2	30
計	21	80	7	28	4	4	2	17	2	16	2	25	11	23	242

(イ) 来所相談

表3 来所相談件数と相談者内訳

年代	実件数	延件数	相談者内訳 (重複あり)			
			父	母	本人	その他(**)
幼児	0	0	0	0	0	0
小学生	6	129	53	35	96	1
中学生	9	53	18	35	32	3
高校生	15	94	25	88	51	12
その他(*)	5	27	0	2	2	0
計	35	303	96	160	181	13

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者、 その他(**) : 祖父母、学校等

表4 来所相談内容 (実件数内訳)

	発達上の問題	不登校・ひきこもり	非行・暴力	家庭内の問題	出産・育児上の悩み	身体上の悩み	摂食障害	性格・行動上の悩み	対人関係の悩み	依存関係	性についての悩み	日常生活の不安	病気の不安等	情報提供・その他	計
幼児															
小学生	2	1						3							6
中学生		5						2		1			1		9
高校生	1	5	1			1		3		1		2		1	15
その他		1						2						2	5
計	3	12	1			1		10		2		2	1	3	35

表5 来所相談の経路（実件数内訳）

	直接	医療機関からの紹介	学校からの紹介	その他	年代別計
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	5	0	1	0	6
中学生	7	0	2	0	9
高校生	9	1	1	4	15
その他（*）	2	0	1	2	5
計	23	1	5	6	35

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表6 来所相談の処遇状況及び他機関との連携状況（実件数内訳）

	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介（病院等）	年代別計	他機関と連携（※再掲）
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	2	4	0	6	2
中学生	4	2	3	9	0
高校生	5	4	6	15	6
その他（*）	2	3	0	5	3
計	13	13	9	35	11

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

※再掲：医療機関・保健福祉センター・市町・学校・その他機関

イ 子どもの心の支援者研修会

（ア）子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー

目 的：医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：子どもの心の問題に携わる医療・保健・教育・福祉等関係者

内 容：講演会及び事例検討会

< 1回目 >

日時：令和3年8月5日（木） 13：30～16：30

講師：国立成育医療研究センターこころの診療部

社会福祉法人子どもの虐待防止センター

山口 有紗 氏（医師）

テーマ：「コロナ」×子どものこころ

開催方法：ZOOMを利用したオンラインによる開催

参加者数：65人

< 2回目 >

日時：令和3年9月2日（木） 14：00～15：30

講師：福井大学 こころのこころの発達研究センター教授・センター長

友田 明美 氏（医師）

テーマ：「虐待」×子どものこころ

開催方法：ZOOMを利用したオンラインによる開催（講演は録画したものを放映）

参加人数：73人

< 3回目 >

開催日時：令和3年10月8日（金） 13：30～16：30

①ミニ講話（発達障害支援研修報告）

講師：石川県立高松病院 北川 祐一 氏（医師）

②講演

講師：金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学教授 菊知 充 氏（医師）

テーマ：「発達障害」×子どものこころ

開催方法：ZOOMを利用したオンラインによる開催

参加者数：101人

(イ) 発達障害等早期支援関係者セミナー

目的：幼児・小学校低学年の発達障害等の支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：保育士・幼稚園教諭、小学校教諭、保健師等

日時：令和3年11月21日（日） 13：30～17：00

開催方法：ZOOMを利用したオンラインによる開催

参加人数：90人

①ミニ講座「発達障害対応能力向上研修報告」

講師 医王病院 中村 奈美 氏 (医師)

②実践報告「白山市の保健・福祉・教育の連携状況」

報告 白山市発達障害支援センター 横山 三千代 氏 (保健師)

③講演

講師 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

副院長/こころの診療部統括部長 小枝 達也 氏 (医師)

内容 「幼児期の発達障害児の早期発見と早期診断の意義」

ウ 子どものこころの支援事例検討会 ※実施なし

目的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施し、子どもを診る専門医、専門家および関係者の育成強化を図る。

(ア) 未就学児等事例検討会

(イ) 児童・青年期事例検討会

例年2～4回ずつ事例検討会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため研修が全てオンライン開催となり、個人情報の保護や情報流出防止のため、開催が困難であった。今後、事例検討会の安全な開催方法を検討していく必要がある。

エ いしかわ子どものこころのケアネットワーク事業検討会

目的：「いしかわ子どものこころのケアネットワーク事業」を円滑に実施するために、子どもに関わる各分野の関係者による検討会を開催している。

実施主体は県庁少子化対策監室。当センターは事務局として参加している。

日時：令和3年12月22日(水) 19:00～21:00

開催方法：会場での開催とZOOMを利用したオンラインによる開催の併用

場所：石川県庁行政庁舎1104会議室

参集者：医療・保健・教育・福祉関係者

内容：各機関における子どものこころのケア推進に係る取り組みについての報告
事例検討

オ 中央で開催された高度な研修・会議への参加

(ア) 子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議

<第1回>

日時：令和3年9月9日(木)

開催方法：オンライン

<第2回>

日時：令和4年1月28日（金）

開催方法：オンライン

(イ) 子どもの心の診療ネットワーク事業 中央拠点病院主催 研修会

テーマ：有事の際の子どもの心のケア

日時：令和3年9月10日（金）

開催方法：オンライン

カ 普及啓発

(ア) 子どもの心の診療・相談機関情報ガイド

子どもの心の問題に対応している精神科・心療内科・小児科等標榜医療機関及び相談機関の情報を収集し、小冊子を発刊し周知を図っている。令和3年度には内容を大きく見直し、第3版を発行した。

(イ) 子どもの心の診療機関MAP

子どもの心の診療ネットワーク事業中央拠点病院事務局（国立成育医療研究センターこころの診療部内）が作成し、ホームページに掲載しているもの。県内の精神科及び小児科の各医療機関の診療情報を掲載するため、各々の機関に協力依頼を行っている。

令和3年度には上記情報ガイド改訂と併せて新規掲載の依頼と、掲載内容の見直しを行った。

(11) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人、及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人への退院促進を図る。

ア ピアサポーターの養成研修会

長期入院患者等に対し、退院を促進し、地域での在宅生活に向けて仲間をサポートできるピアサポーターを養成するとともに、これまで養成したピアサポーターのフォローアップとして研修会を開催した。

日 時：令和3年12月10日（金）13:30～16:00

場 所：石川県こころの健康センター研修室

参加者：ピアサポーターの活動を希望する精神障害者、ピアサポーター、精神科病院・クリニック等が運営する相談支援事業所職員、精神科病院職員（退院後生活環境相談員、精神保健福祉士等）、地域体制整備コーディネーター、保健所職員等 29人

内 容：講 義1 「ピアサポーターの基礎知識」

発表者：ピアサポーター 松田 茂喜 氏

ピアサポーターの登録及び派遣支援状況

報告者 県障害保健福祉課 宍戸 宏充 氏

講 義2 「リカバリーとピアサポート」

発表者：ピアサポーター 松田 茂喜 氏

イ ピアサポーターの派遣

精神科病院、相談支援事業所と連携して、登録しているピアサポーターを派遣し、入院患者の地域生活への動機付けのための病院訪問や外出時の同行支援等を通じて退院促進を図る予定であったが新型コロナウイルス感染が拡大したため派遣は行われなかった。

(ア) ピアサポーターの新規登録人数：1人

(イ) ピアサポーターの派遣回数及び人数：0人

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためピアサポーターの派遣は行われなかった。

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で1～数回の相談で終了する「相談支援」、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して支援する「発達支援」、就労に関して支援する「就労支援」を行っている。

※支援は「相談支援」から始まり、支援計画を立てて、継続的支援である「発達支援」「就労支援」に切り替える。

表1 年齢別

年齢区分（歳）		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	11	18	67	43	44	217	67	467人
	延件数	12	25	90	79	97	609	69	981件
発達支援	実人員	15	138	82	33	24	54	0	346人
	延件数	138	2,034	1,051	558	269	603	0	4,653件

年齢区分（歳）		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	48	48人
	延件数	0	568	568件

表2 相談支援の主な相談内容

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	172
現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	351
利用できる制度について知りたい	67
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	197
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	96
進路や将来の生活に関する相談をしたい	77
対応困難な状況の改善について相談したい	34
今後の就労について相談したい	81
現在勤めている職場に関する相談をしたい	80
その他	304
合 計	1,459件

※相談時毎の相談内容を計上。複数チェックあり

表3 相談方法

区 分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	268	5	668	40	981件
発達支援	319	4,187	143	4	4,653件
就労支援	361	0	200	7	568件
合 計	948	4,192	1,011	51	6,202件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	2	11	0	13
アスペルガー症候群	5	4	1	10
広汎性発達障害	101	62	43	206
A D / H D	37	12	4	53
L D	5	1	0	6
そ の 他	50	69	0	119
不明（未診断含む）	267	187	0	454
合 計	467人	346人	48人	861人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本人	442	2,387	489	3,318
保護者・親族	422	2,246	35	2,703
保育所・幼稚園	0	0	0	0
小学校	4	0	0	4
中学校	3	3	0	6
高等学校	4	0	0	4
特別支援学校	0	0	0	0
専門学校・短大・大学	1	0	0	1
教育委員会	0	0	2	2
市町保健センター	2	0	0	2
保健所	3	0	0	3
児童相談所	1	1	0	2
行政	16	1	0	17
医療機関	35	3	3	41
企業	11	0	2	13
公共職業安定所	3	0	1	4
障害者職業センター	2	0	19	21
地域若者サポートセンター	0	0	0	0
障害者就業・生活支援センター	4	0	0	4
相談支援事業所	7	9	8	24
就労移行支援事業所	5	0	1	6
就労継続支援事業所	0	0	5	5
その他	16	3	3	22
合計	981件	2,398件	568件	6,202件

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	269	77	346人
就労支援（実人員）	32	16	48人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	83	36	101	126	346人
就労支援（実人員）	0	0	1	47	48人

(2) 精神科医による相談事業

嘱託の精神科医による相談を月1回実施している。相談後の支援としては、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施している。

相談事業結果

実 施 回 数		7回
来 所 実 人 員		9人
来 所 延 人 員		10人
年齢別	0 ~ 3 歳	0
	4 ~ 6 歳	2
	小 学 生	0
	中 学 生	0
	1 6 ~ 1 8 歳	0
	1 9 歳 ~	8
	合 計	10
診察結果	障 害 な し	0
	経過観察 (判定保留)	0
	自 閉 症	0
	アスペルガー症候群	0
	広汎性発達障害	10
	A D / H D	0
	知 的 障 害	0
	そ の 他	0
合 計	10	
支援内容	センターで継続支援	10
	医 療 機 関 紹 介	0
	療 育 施 設 紹 介	0
	そ の 他 の 機 関 紹 介	0
	他 機 関 で 管 理 中	0

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

年 度	相談支援	発達支援	就労支援	計
H29	1,288 (647)	4,168 (310)	1,184 (89)	6,640 (1,046)
H30	1,110 (590)	4,139 (297)	1,044 (78)	6,293 (965)
R 元	1,109 (605)	3,519 (251)	702 (62)	5,330 (918)
R2	854 (451)	2,398 (204)	554 (53)	3,806 (708)
R3	981 (467)	4,653 (346)	568 (48)	6,202 (861)

注：() は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、週 1 回午前 10 時から午後 3 時まで、青年期の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
26 回	6 人	124 人	対人マナー、社会見学、ストレス解消法等

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、月 1 回午後 7 時から 8 時半まで、就労者の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
6 回	3 人	12 人	談話会等

(5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、月 1 回午後 1 時半から 3 時半まで、青年期にある当事者の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、月 1 回午前 10 時から 12 時まで、学齢期にある当事者の保護者を対象として実施している。

表 1 実施状況

区 分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	6 回	6 組	20 人	ピアカウンセリング、話し合い等

(6) 関係機関等との調整会議

表 1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉	就労	自立 支援	その他	合計
回数	3	4	0	1	0	8	2	0	3	21 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児（者）への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小学校	1	2
	中学校	0	0
	高等学校	0	0
	特別支援学校	0	0
	専門学校・大学	0	0
	市町教育委員会	1	2
	市教育研究所	0	0
	障害者職業センター	0	0
	相談支援事業所	5	5
	就労移行支援事業所	1	1
	就労継続支援事業所	2	2
	公共職業安定所	1	2
	市 町	3	3
	放課後等デイサービス	2	4
	医療機関	2	2
	児童相談所	0	0
	企 業	3	3
	そ の 他	4	5
	合 計	25カ所	31件
支援内容	障害特性の理解		0
	指導・対応方法の助言		27
	心理査定		0
	事例検討		0
	研 修 会		0
	そ の 他		4
	合 計		31件

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児（者）に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区 分	0～6 歳	7～12 歳	13～15 歳	16～18 歳	19 歳以上	合計
実人員	0	0	3	0	7	10 人
延件数	0	0	4	0	14	18 件

表2 障害種別

区 分	実支援人員
自 閉 症	0
アスペルガー症候群	0
広汎性発達障害	8
A D / H D	2
L D	0
そ の 他	0
不明（未診断含む）	0
合 計	10 人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

表3 会議テーマ

内 容	開催回数
家 庭 生 活	4
健康・医療	0
教 育	4
福 祉	0
療育支援	0
進路相談	0
自立支援	0
就労支援	10
そ の 他	0
合 計	18 回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

今年度は、新型コロナウイルスのまん延防止のため、Z o o mでのオンライン開催も実施。

表1 研修会及び公開講演会の開催状況

研修名	令和3年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（3日間研修）
月日 場所	令和3年8月20日（金）9:00～16:00 Z o o mでのオンライン開催
内容 講師	研修Ⅰ－① 講演「発達障害とは（概論）」 講師：石川県発達障害支援センター 支援課長 酒井 伸吾
	研修Ⅰ－② 講演「それぞれのライフステージでの発達障害受容 ～本人と家族を支える～」 講師：日本ボーテージ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 45人
月日 場所	令和3年9月22日（水）10:00～16:00 Z o o mでのオンライン開催
内容	研修Ⅱ 講演「それぞれのライフステージにおける発達障害支援～支援方法について学ぶ～」 演習（グループワーク）
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 課長 笠合 竜明 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 44人
月日 場所	令和3年10月15日（金）10:00～15:30 Z o o mでのオンライン開催
内容	研修Ⅲ ① 講演「就労支援機関での取り組み」 ② 講演「発達障害者をもつ人の就労と就労支援について」
講師	① 就労移行支援事業所リエゾン 所長 中山 肇 氏 ② 社会福祉法人 横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長 志賀 利一 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 43人

研修名	令和3年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）
月日 場所	令和3年6月28日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	① 講義「発達障害者支援法について」 ② 講義「発達障害のある人への相談支援」 ③ 講義「発達障害とは」
講師	① 石川県障害保健福祉課 主事 穴戸 宏充 ② 石川県発達障害支援センター 支援課長 酒井 伸吾 ③ やすもと医院 精神科医 安本 真由美 氏
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 25人
月日 場所	令和3年7月22日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「発達障害の人たちの生きづらさとその支援」
講師	信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長 子どものこころの発達医学教室教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 22人 *関係機関研修会を講義の一コマに
月日 場所	令和3年8月9日 Zoomでのオンライン開催
内容	講演「WISC-IV検査結果と発達支援実践の橋渡し update — つまづきの原因の理解と対応 — 」
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 13人 *アセスメントツール研修会を講義の一コマに
月日 場所	令和3年9月9日 Zoomでのオンライン開催
内容	講義①「ライフステージ別の現状～幼児・学齢期～」 講義②「ライフステージ別の現状～思春期以降～」
講師	日本ポーター協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 21人
月日 場所	令和3年10月4日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義「アセスメントツール研修（概論）」
講師	臨床心理士 滋野井 圓 氏
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 21人

月日 場所	令和3年11月19日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	① 講義「発達障害とひきこもり」 ② 講義「就労支援の実際について」
講師	① 発達障害者支援センターパース 就労支援リーダー 吉本 真悟 氏 ② 就労移行支援事業所リエゾン所長 中山 肇 氏 ③ 石川障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 中村 美紀 氏、当事者 1名
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 21人
月日 場所	令和3年7月～令和3年11月 計5回 石川県発達障害支援センター
内容	実習① 当センターが実施している当事者グループ活動への参加
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 計 21人
月日 場所	令和3年9月～令和3年12月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	実習② 石川県発達障害支援センターの機能（個別相談）について ・個別相談の流れについて説明 ・ケースカンファレンスに参加、質疑や意見交換
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 計 21人
月日 場所	令和3年10月4日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習③ 当事者の声を聞く ・講演「トウジシャたちの当事者意識 寄り添う ▶ 向き合う ▶ 付き合う」
講師	大人の発達障害を明るく語る会 ここらば 代表 みっと 氏
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 20人
月日 場所	令和3年12月7日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習④ 発達障害がある人の支援方法について学ぶ(講義、ロールプレイ等) ・講義と実習「特性理解とアセスメントから誤解を防ぐ面談スキル」
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 課長 笠合 竜明 氏
参加者	保健、福祉、教育、医療、相談機関等の相談支援従事者 計 21人

研修名	令和3年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（フォローアップ研修）
月日 場所	令和3年10月29日 10:00～12:30 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義「発達障害の人たちの生きづらさとその支援」（録画視聴）
講師	信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長 子どものこころの発達医学教室教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 14人
月日 場所	令和3年10月29日 13:30～15:30 石川県こころの健康センター 研修室
内容	意見交換会「県内における発達障害児者支援体制の現状や課題及び今後の可能性等についての意見交換」
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 14人
月日 場所	令和3年11月～令和4年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	事例検討会
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計18人

研修名	令和3年度アセスメントツール基礎研修
月日 場所	令和3年8月9日（月・祝）10:00～16:00 Zoomでのオンライン開催
内容	講演「WISC-IV検査結果と発達支援実践の橋渡し update — つまずきの原因の理解と対応 — 」
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六一志 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（79人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）受講者（13人） 受講者計92人

研修名	令和3年度石川県発達障害支援センター関係機関研修会
月日 場所	令和3年7月22日（木・祝）14:00～16:30 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「発達障害の人たちの生きづらさとその支援」
講師	信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長 子どものこころの発達医学教室教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（90人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）受講者（22人） 受講者計 112人

研修名	令和3年度石川県発達障害者支援センター公開講演会
月日 場所	令和4年3月5日（土）13:30～16:00 Zoomでのオンライン開催
内容	講演「発達障害とゲーム・ネット・スマホ ～ デジタル機器との付き合い方を考える ～」
講師	愛知県医療療育総合センター中央病院子どものこころ科（児童精神科）部長 あいち発達障害者支援センター副センター長 吉川 徹 氏
参加者	医療、保健、福祉、教育、相談機関等の職員、保護者、一般 計 95人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日時	会場	内容	対象及び人数
令和3年4月20日	金沢産業技術 専門学校	ワークサポート科講義	保護者等 13人
令和3年5月23日	福祉総合研修 センター	障害支援区分認定にかかる医師意見 書記載説明会	医療機関職員 30人
令和3年6月16日	地場産業振興 センター	石川県放課後児童支援員等研修会	放課後児童支援員 114人
令和3年6月16日	発達障害支援 センター	金沢工業大学臨床心理研修	学生・教員 6人
令和3年6月22日	小松市公会堂	石川県放課後児童支援員等研修会	放課後児童支援員 43人
令和3年6月23日	七尾市文化ホ ール	石川県放課後児童支援員等研修会	放課後児童支援員 6人
令和3年7月6日	県庁	健やかふれあい保育事業の対象児童 認定に係る判定会	対象児童 148人
令和3年7月13日	発達障害支援 センター	保育専門学園専攻科学生研修	学生・教員 4人
令和3年8月23日	発達障害支援 センター	金沢工業大学公認心理士実習	学生・教員 8人
令和3年9月24日	発達障害支援 センター	金沢医科大学看護学部学生研修	学生・教員 12人
令和3年11月11日	発達障害支援 センター	保育専門学園専攻科研修	学生・教員 4人
令和3年12月11日	白山市福祉ふれ あいセンター	白山市発達相談センター講演会	白山市民 他 37人
令和3年12月14日	MCハイツ 平和	MCハイツ職員研修	スタッフ 8人
令和4年3月14日	開進堂楽器	開進堂楽器社員研修	ピアノ講師 30人
令和4年3月25日	発達障害支援 センター	北陸朝日放送取材	取材スタッフ 2人

Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

(1)相談区分別相談件数

区分		合計 (延)	老人精 神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健 康づくり	うつ・う つ状態	摂食障害	てんかん	その他
南加賀 保健福 祉セン ター	電話	1,744	77	1,104	73	13	13	1	35	349	57	6	0	16
	メール	41	2	22	1	0	0	1	2	10	3	0	0	0
	来所(実71)	101	1	41	4	2	4	0	5	37	3	0	0	4
	訪問(実52)	128	7	71	11	0	0	0	3	34	2	0	0	0
石川中 央保健 福祉セン ター	電話	1896	82	1014	59	1	0	5	27	182	3	0	0	523
	メール	32	0	24	1	0	0	0	0	6	0	0	0	1
	来所(実65)	100	5	29	4	0	0	0	11	51	0	0	0	0
	訪問(実93)	321	5	176	8	0	0	0	0	14	0	0	0	118
能登中 部保健 福祉セン ター	電話	1,142	57	545	27	8	0	0	49	145	23	0	1	287
	メール	12	0	3	5	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	来所(実70)	185	2	83	1	12	0	0	7	62	6	0	1	11
	訪問(実61)	237	11	147	7	0	0	0	4	19	0	0	0	49
能登北 部保健 福祉セン ター	電話	895	46	612	74	0	0	1	41	51	14	3	0	53
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所(実51)	94	1	45	12	0	0	0	14	19	1	1	0	1
	訪問(実28)	85	0	55	4	0	0	0	7	9	6	0	0	4
金沢市 福祉健 康セン ター	電話	5,302	133	2,004	187	38	4	4	66	575	169	4	3	2,115
	メール	12	1	5	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1
	来所(実265)	414	16	129	13	0	0	2	17	162	23	1	0	51
	訪問(実228)	727	10	444	14	5	0	0	10	41	0	0	0	203
保健所 計	電話	10,979	395	5,279	420	60	17	11	218	1,302	266	13	4	2,994
	メール	97	3	54	7	0	0	1	4	21	3	0	0	4
	来所(実522)	894	25	327	34	14	4	2	54	331	33	2	1	67
	訪問(実462)	1,498	33	893	44	5	0	0	24	117	8	0	0	374
こころの 健康セン ター	電話	18,661	91	5,025	59	15	55	20	198	10,254	1,263	20	2	1,659
	メール	39	0	2	2	0	2	0	2	16	3	0	1	11
	来所(実237)	1,388	0	191	10	12	133	15	158	657	113	0	0	99
	訪問(実130)	166	0	34	0	0	0	0	0	132	0	0	0	0

(2)年齢区分別相談件数

保健所	区分	合計	年齢区分							不明
			0~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	
南加賀保健福祉センター	電話 延	1,744	102	183	384	287	548	84	134	22
	来所 実	71	6	9	16	21	11	4	3	1
	延	101	6	11	20	35	18	6	4	1
	訪問 実	52	8	4	15	7	13	2	3	0
	延	128	17	11	41	13	29	8	9	0
石川中央保健福祉センター	電話 延	1,896	125	332	461	354	312	105	136	71
	来所 実	65	9	12	12	10	10	6	5	1
	延	100	16	16	30	11	12	9	5	1
	訪問 実	93	5	16	20	22	14	7	7	2
	延	321	25	64	85	68	41	15	18	5
能登中部保健福祉センター	電話 延	1,142	37	153	205	164	243	138	172	30
	来所 実	70	2	8	16	17	11	7	9	0
	延	185	7	27	51	59	16	11	14	0
	訪問 実	61	3	8	9	13	9	8	11	0
	延	237	3	34	55	31	42	40	32	0
能登北部保健福祉センター	電話 延	895	46	87	148	133	220	136	120	5
	来所 実	51	9	5	12	10	10	2	3	0
	延	94	14	5	24	13	21	6	11	0
	訪問 実	28	2	4	7	5	6	3	1	0
	延	85	7	11	26	6	18	15	2	0
金沢市福祉健康センター	電話 延	5,302	203	619	908	1,634	835	406	619	78
	来所 実	265	23	42	44	54	56	19	26	1
	延	414	34	63	71	78	95	29	43	1
	訪問 実	228	10	19	36	67	45	21	30	0
	延	727	37	46	86	234	161	69	94	0
保健所計	電話 延	10,979	513	1,374	2,106	2,572	2,158	869	1,181	206
	来所 実	522	49	76	100	112	98	38	46	3
	延	894	77	122	196	196	162	61	77	3
	訪問 実	462	28	51	87	114	87	41	52	2
	延	1,498	89	166	293	352	291	147	155	5
こころの健康センター	電話 延	18,661	350	2,334	3,702	3,347	5,378	2,162	246	1,142
	来所 実	238	43	61	61	25	18	13	16	1
	延	1,388	58	343	399	154	93	45	3	16
	訪問 実	130	0	13	21	24	29	12	4	27
	延	166	0	18	29	34	33	13	12	27

(3) 診断区別相談件数

保健所		区分		合計	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明
		来所	実															
南加賀保健福祉センター	来所	実	71	1	3	6	9	6	0	1	1	5	0	0	0	0	0	39
		延	101	1	4	11	11	7	0	1	1	13	0	0	0	0	0	52
	訪問	実	52	1	2	18	7	2	0	2	1	1	1	0	1	0	0	16
		延	128	2	11	52	15	3	0	4	2	1	1	0	4	0	0	33
石川中央保健福祉センター	来所	実	65	0	0	2	3	2	0	0	1	0	1	2	0	48	6	
		延	100	0	0	2	6	2	0	0	5	1	1	7	0	70	6	
	訪問	実	93	2	2	25	18	6	0	1	3	3	0	1	0	15	17	
		延	321	4	19	87	69	22	0	2	13	8	11	3	0	34	49	
能登中部保健福祉センター	来所	実	70	1	1	22	14	2	0	0	2	4	1	1	0	0	22	
		延	185	3	1	62	42	3	0	0	4	6	8	1	0	0	55	
	訪問	実	61	1	3	25	10	2	0	0	2	6	0	0	0	0	12	
		延	237	1	9	124	51	3	0	0	3	24	0	0	0	0	22	
能登北部保健福祉センター	来所	実	51	1	5	16	2	1	0	0	3	3	1	0	4	6	9	
		延	94	1	11	31	2	1	0	0	3	6	1	0	14	6	18	
	訪問	実	28	0	2	10	1	0	0	0	4	4	0	0	2	1	4	
		延	85	0	3	35	5	0	0	0	9	10	0	0	7	1	15	
金沢市福祉健康センター	来所	実	265	2	4	34	36	14	2	3	2	16	0	0	3	1	148	
		延	414	2	9	63	59	20	2	8	12	42	0	0	10	1	186	
	訪問	実	228	7	13	76	37	23	0	5	5	16	0	1	2	1	42	
		延	727	9	50	274	148	60	0	7	12	56	0	1	2	3	105	
保健所計	来所	実	522	5	13	80	64	25	2	4	9	28	3	3	7	55	224	
		延	894	7	25	169	120	33	2	9	25	68	10	8	24	77	317	
	訪問	実	462	11	22	154	73	33	0	8	15	30	1	2	5	17	91	
		延	1,498	16	92	572	288	88	0	13	39	99	12	4	13	38	224	
こころの健康センター	来所	実	238	0	1	1	28	13	0	6	1	16	2	0	4	24	142	
		延	1,388	0	5	7	166	83	0	40	24	131	0	0	6	221	617	
	訪問	実	130	0	0	4	28	1	0	0	1	2	0	0	0	0	51	
		延	166	0	0	12	28	1	0	0	4	10	0	0	0	0	56	

※診断名はICD10に準ずる

※こころの健康センターの「その他」は異常なし、非定型精神病、ナルコレプシーを含む

(4) 自殺・ひきこもり区分別相談件数(再掲)

保健所	区分	自殺	ひきこもり						合計
			10代	20代	30代	40代	50代以上	不明	
南加賀保健福祉センター	電話	94	14	4	18	1	0	0	37
	メール	13	0	0	0	1	0	0	1
	来所 実	4	0	1	2	0	0	0	3
	延	4	0	2	3	0	0	0	5
	訪問 実	3	2	0	2	0	0	0	4
	延	4	7	0	7	0	0	0	14
石川中央保健福祉センター	電話	135	1	13	30	17	20	0	81
	メール	2	0	0	6	2	0	0	8
	来所 実	1	0	2	5	0	4	0	11
	延	1	0	2	23	0	5	0	30
	訪問 実	11	0	1	2	1	2	0	6
	訪問 延	29	0	2	14	9	5	0	30
能登中部保健福祉センター	電話	69	6	116	37	37	42	0	238
	メール	1	1	1	1	0	1	0	4
	来所 実	6	1	4	6	5	3	0	19
	延	11	1	17	28	11	4	0	61
	訪問 実	4	1	4	4	3	2	0	14
	訪問 延	7	1	25	4	5	16	0	51
能登北部保健福祉センター	電話	18	16	22	23	0	1	20	82
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所 実	1	4	1	3	0	0	0	8
	延	1	7	1	9	0	0	0	17
	訪問 実	0	1	2	2	0	0	2	7
	訪問 延	0	6	4	8	0	0	7	25
金沢市福祉健康センター	電話	1010	29	38	39	98	60	4	268
	メール	0	1	1	0	0	2	0	4
	来所 実	13	5	7	3	5	7	0	27
	延	28	12	20	4	8	12	0	56
	訪問 実	40	2	0	3	6	7	0	18
	延	128	9	0	7	13	17	0	46
保健所計	電話	1326	66	193	147	153	123	24	706
	メール	16	2	2	7	3	3	0	17
	来所 実	25	10	15	19	10	14	0	68
	延	45	20	42	67	19	21	0	169
	訪問 実	58	6	7	13	10	11	2	49
	延	168	23	31	40	27	38	7	166
こころの健康センター	電話	267	24	61	97	11	41	19	253
	メール	3	0	0	1	0	0	0	1
	来所 実	20	3	27	24	1	2	0	57
	延	143	26	226	198	6	3	0	459
	訪問 実	0	0	1	0	0	0	0	1
	延	0	0	2	0	0	0	0	2

2 普及啓発活動

保健所	区分	講演会			ゲートキーパー養成等事業及び若い世代の心の健康作り事業			
	内容	人数	内容	対象	回数	人数	内容	対象
南加賀保健福祉センター		なし			1	50	ゲートキーパー養成研修	トーケン
					1	17	ゲートキーパー養成研修	大同工業新入社員
					3	12	ゲートキーパー養成研修	金沢大学学生
					1	4	ゲートキーパー養成研修	金沢医科大学学生
					2	23	ゲートキーパー養成研修	公立小松大学学生
石川中央保健福祉センター		なし			1	60	ゲートキーパー養成講座	内灘町民生委員
					1	16	ゲートキーパー養成講座	金沢医科大学学生
					1	3	ゲートキーパー養成講座	金沢大学学生
能登中部保健福祉センター		なし			1	30	ゲートキーパー研修	七尾看護学校学生
能登北部保健福祉センター		なし					なし	
金沢市福祉健康センター	1		ひきこもり講演会(web)	市民	1	450	こころの健康づくり講座(ゲートキーパー研修含む)	大学生
	1	43	メンタルヘルス研修	市職員	1	4	ゲートキーパー研修	大学生
	1	25	こころの健康づくり講座	市民	1	9	ゲートキーパー研修	大学生
					1	9	ゲートキーパー研修	大学生
					1	5	ゲートキーパー研修会	大学生
					1	43	こころの健康づくり講座(ゲートキーパー研修含む)	市職員
					1	18	ゲートキーパー研修	専門学校学生
					1	5	ゲートキーパー研修	大学生
					1	18	ゲートキーパー研修	専門学校学生
					1	5	ゲートキーパー研修	大学生
					1	5	ゲートキーパー研修	大学生
					1	4	ゲートキーパー研修	大学生
					1	40	ゲートキーパー研修	市職員
				1	25	こころの健康づくり講座(ゲートキーパー研修含む)	市民	
				1	6	ゲートキーパー研修	大学生	
				1	23	メンタルヘルスボランティア	ボランティア大学高齢者福祉コース受講者	

保健所	自殺予防普及啓発事業(街頭キャンペーン、ラジオ、広報等)	
	回数	
南加賀保健福祉センター	6	街頭キャンペーン
石川中央保健福祉センター	9	街頭キャンペーン
	4	(ラジオ)自殺予防週間について等
能登中部保健福祉センター	2	街頭キャンペーン
	2	(ラジオ)自殺予防週間について等
能登北部保健福祉センター	2	街頭キャンペーン
金沢市福祉健康センター	1	(Facebook)自殺対策強化月間
	4	(ラジオ)こころの健康づくり、自殺対策強化月間等

3 関係機関・団体との連携

保健所	機関名	支援内容	回数
南加賀保健福祉センター	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会DV対策部会	1
	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会いのちと心の部会	2
	小松市	精神事例検討会	5
	加賀市	庁内外自殺対策連絡会、ゲートキーパー研修	2
	加賀市	じりつ支援協議会おとな部会	2
	加賀市	加賀市地域移行支援会議	3
	加賀市	精神事例検討会	2
	能美市	精神事例検討会	7
	金沢保護観察所	精神事例検討会	5
	精神科病院	精神事例検討会	5
	メンボラTOMOの会	メンボラTOMOの会役員会	4
	AA	普及啓発への協力	12
	断酒会	普及啓発への協力	1
	石川中央保健福祉センター	白山市	共生の街づくり推進協議会 すまい部会・情報交換会
白山市		メンタルヘルス講演会・相談会	1
白山市		ケア会議	6
野々市市		ケア会議	1
かほく市		自立支援協議会	2
かほく市		精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築協議連絡会	1
津幡町		障害者地域自立支援協議会・運営会議	1
内灘町		自立支援協議会	1
相談支援事業所		ケア会議	1
金沢保護観察所		ケア会議	4
病院		ケア会議	19
能登中部保健福祉センター	金沢保護観察所	医療観察対象者のケア会議、同行訪問	18
	七尾市・中能登町	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	7
	七尾市	事例検討会	2
	宝達志水町	事例検討会	3
	中能登町	事例検討会	5
	公立能登総合病院	事例検討会	2
	こころの病院	事例検討会	2
	七尾市	同行訪問	3
	羽咋市	同行訪問	10
	志賀町	同行訪問	6
	宝達志水町	同行訪問	7
	相談支援事業所	同行訪問	40
	訪問看護	同行訪問	27
	みそぎ会	総会(打ち合わせ、連絡等)	1
	心明会	総会(打ち合わせ、連絡等)	1
	能登中部圏域家族交流会	打ち合わせ、連絡会等	2
	メンタルヘルスポランティア花の会	総会、連絡等	4

保 健 所	機 関 名	支 援 内 容	回 数
能登北部保健福祉センター	奥能登地域自立支援協議会	全体会	1
	奥能登地域自立支援協議会	専門部会「啓発部会」	8
	輪島市	ケース会議	1
		同行訪問	9
	珠洲市	同行訪問	1
	穴水町	奥能登地域自立支援協議会 穴水町連絡会	1
	能登町	奥能登地域自立支援協議会 能登町連絡会	1
		同行訪問	9
	県立こころの病院	ケア会議	4
	公立能登総合病院精神センター	ケア会議	1
	七尾松原病院	ケア会議	6
	ピアサポート北のと	同行訪問	7
	生活支援Beネット日本海倶楽部	同行訪問	1
	相談支援キララ	ケア会議	2
		同行訪問	8
	相談支援海と空	ケア会議	1
	地域福祉関係機関等	同行訪問	1
	断酒会	合同酒害相談	8
家族会「輪水会」	総会	1	
金沢市福祉健康センター	医療機関等	ケア会議	155
	金沢保護観察所	ケア会議	12
	福祉健康センター	事例検討会	3
	福祉健康センター	地域精神保健福祉連絡会	1
	家族会	総会・定例会における支援、情報提供	5
	市民活動団体	連携体制の構築、活動支援、情報提供	13
	ボランティアグループ等	ボランティア育成支援、ひきこもり長期化防止事業委託	4
	地域包括支援センター等	健康教育、連携、情報共有	1
	石川県	地域生活支援事業担当者連絡会	1
	石川県	自殺対策担当者連絡会	1
	石川県	措置入院に関する関係者連絡会	1
	石川県	地域生活支援連携会議	1

4 集団活動

(1) 当事者活動

保健所名	回数	実人数	延人数	内容
南加賀保健福祉センター				ひきこもり社会参加復帰事業(社会復帰支援教室) 調理、散策スポーツ、手工芸等
石川中央保健福祉センター				
能登中部保健福祉センター	9	2	13	
能登北部保健福祉センター	7	1	7	
金沢市福祉健康センター				

(2) 家族教室

保健所名	回数	実人数	延人数	内容
南加賀保健福祉センター	1	12	12	うつ病家族教室
	1	17	17	依存症家族教室
石川中央保健福祉センター				
能登中部保健福祉センター				
能登北部保健福祉センター	1	27	27	ひきこもり家族教室(講演会)
	3	不明	17	ひきこもり家族教室(講演会の録画配信)
	1	3	3	ひきこもり家族交流会
金沢市福祉健康センター				

5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧

(ビデオテープ (VHS方式) ・DVD含む)

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
児童	2101	SOSからの笑顔へ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60	小・中 高・一 般	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102～ 2106	子育てたまご (1) ～ (5)	各60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついている。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか!	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人っきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係を考える会(グループミーティング)のこと
	2113	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD 1	284	児童	DVD	「ゴーゴーもるもくん」「恐竜あいうえお」「まちをつくるじどうしゃ」他5編
	2114	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD 3	336	児童	DVD	日本の昔話17編、他2編
	2115	「交通事故で家族を亡くした子どもの支援」に関するシンポジウム基調講演 子どもと死 ―その理解と支援―	52	一般	DVD	制作・著作：内閣府
	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過剰な残業により、神経症やうつ状態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身をセルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス(心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のためのストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべきか。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを中心として様々な疲労回復方法を教示する。
2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対してどのように対処すべきか。	

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
こころの健康	2213	開く-かける-つなぐ~精神保健ボランティア~いっしょにいこうよ~	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共にその大切さを訴える。
	2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求を受け入れた夫が一晩の入院で退院させることになる映画。
	2216	小さなほほえみのために~乳幼児突然死症候群SIDSから赤ちゃんを守る~	5	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217-1	企業戦士のメンタルヘルス①五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217-2	企業戦士のメンタルヘルス②出社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エズル休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217-3	企業戦士のメンタルヘルス③燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217-4	企業戦士のメンタルヘルス④帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい。
	2217-5	企業戦士のメンタルヘルス⑤スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害①職場の第一人者②妻として充実した家庭③母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶! 夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか?	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だつて風邪を引く ~メンタルヘルス対策を進めよう!~	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働省のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティックバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート~女のスペース・駆け込みシェルターの現場から~	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域におけるドメスティックの被害者へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもる心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか!	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ! ストーカー! 心の闇に潜むもの	40	女性	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループNABA活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
	2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ	
	2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援ビデオ
	2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオDVD	内容
こころの健康	2235	統合失調症の人の回復力を高める①回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義
	2236	統合失調症の人の回復力を高める②ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
	2237	統合失調症の人の回復力を高める③家族のSSTの進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。
	2238	こころの病気を学ぶ授業～統合失調症～		一般	DVD	2008年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30	一般	DVD	うつ病の人の94%に「睡眠障害」があると報告されています。
	2240	こころのサインに気づいたら～悩んでいる人にあなたができること～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2241	こころのサインに気づいたら～悩んでいる人との向き合い方について～	172	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(被災地対応編)	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(講義編・資料編)	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと	36	一般	DVD	睡眠の基礎知識について。
	2246	睡眠保健指導No.1	23	保健指	DVD	睡眠保健指導の意義と重要性について。
	2247	睡眠保健指導No.2	25	保健指	DVD	睡眠保健指導の具体的な方法について。
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(地域対応編・心得編)	144	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2249	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第1巻 うつ病って何だろう	70	一般	DVD	うつ病と付き合っていくために知っておきたい大切な事柄について。
	2250	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第2巻 うつと生きる	104	一般	DVD	うつとともに生きてきたある会社員の17年間の葛藤の軌跡。
	2251	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第3巻 ふたたび職場へ	82	一般	DVD	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。
	2252	平成19年度 いしかわ夢広場3	59	児童	DVD	平成19年度に放送した「心の教育」ラジオ広報番組「いしかわ夢広場」の中から、子どもたちに親しみやすいお話を6編収録。
	2254	スポーツ祭東京2013 精神障害者 フットサル		一般	DVD	精神障害者のフットサル大会。
	2255	石川県ゲートキーパーDVDかけがえのない命をまもるためにあなたもゲートキーパー	18	一般	DVD	ゲートキーパーの役割について。
2256	うつ病者の社会的支援のための客観的指標・運動プログラムの開発～医療モデルからソーシャルモデルへ～	39	専門職	DVD	立教大学コミュニティ福祉研究所の研究記録。	
2257	ひきこもりからの回復 全三巻	236	一般	DVD	「ひきこもり」の理解と回復の支援について	
老人精神保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
	2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
	2303	痴呆性老人の介護者のために～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人(一人暮らし)に対する訪問看護の仕方について。

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
老人精神保健	2304～2305	痴呆老人の介護 (1) (2)	20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴 (症状) とそのかわりについて解説。
	2306	痴呆性老人の在宅介護！～ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。
	2307	痴呆性老人の在宅介護！～ボケのお年寄りの正しい理解のために～	25	一般	ビデオ	千葉県にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護！！～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護！！～家庭介護の実際～	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く (上)	23	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。どうしても自分の足で立ってみたい！
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面での画期的な成果を描いたもの。
	2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ	
	2313	パッチンして！おばあちゃん	90	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方について。
	2315	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	
	2320	2013年 世界精神保健デー 高齢者のメンタルヘルス		一般	DVD	高齢者のメンタルヘルスについて。
精神保健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差別で苦しんでいる。
	2404	つるい養成巴病院 (釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会の活動の様子を描いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気である。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連) についての発展とその紹介
	2410	支えあうなかで～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
精神 保健	2413	ここにおいでよ～精神障害者を支える地域作業所～	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
	2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。
	2416	サンフランシスコのハーフウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連30年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431～ 2432	精神障害者ケアマネジメント 第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ③精神障害者をもつ人への援助の実際	23	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ④精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
	2435	精神保健福祉ビデオシリーズ⑤ノーマライゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。
	2436～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない前編 後編	30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。
	2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2439	統合失調症を生きる 妄想編その1～四六時中のぞかされていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(べてるの家)
	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2～ヒーローたちの戦い～	35	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(べてるの家)
	2441	今日の精神科入院医療～心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ!! 共生の時代へ第4巻ピアカウンセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウンセリングの実際と概要。
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	体験談を交えながら、地域で暮らしていく上で活用できる社会資源について紹介。(ベテルの家)
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の模様を紹介。
2447	ピアカウンセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウンセリングを共に学ぶ仲間づくり。	
2448	17歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の17歳が自分自身を取り戻す。	
2449	第1回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について	

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
精神保健	2450	～偏見を乗り越えて～癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について
	2453～ 2456	N (ネガティブ) からP (ポジティブ) への すすめ～東尋坊からのメッセージ～ (パート 1～9)	101	一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。①10分② 9分③15分④13分⑤15分⑥13分⑦9分⑧14分⑨3 分
	2457	摂食障害者の自助・ピアサポートグループ NABA 活動紹介映像 映像版「いいかげん に生きよう」	20	一般	DVD	活動内容や摂食障害を経験したメンバーのメッ セージなど。
	980	摂食障害 理解と回復のために	203	一般	DVD	第1巻 摂食障害かなと思ったら (53分) 第2巻 家族・支援者の皆さんへ (60分) 第3巻 経験者に聞く 回復までの道のり (90 分)
アルコール 関連	2501	アルコールの害シリーズ～酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連してい る。
	2502	アルコールの害シリーズ～10代の飲酒問題 ～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連してい る10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっ ている。
	2503	アルコールの害シリーズ～アルコール依存 者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し 合いをする。(アメリカ)
	2504	アルコールの害シリーズ～女性とストレス ～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描 く。
	2505	アルコールの害シリーズ～胎児性アルコー ル症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性ア ルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
	2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	アルコール依存の症例をドキュメントタッチの 再現ドラマに仕立てて解説。
	2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	依存症者の心理状態に迫る。
	2508	アルコール依存症～家族の心理～	23	一般	ビデオ	依存症者を取り巻く家族の心理の変化・接し方 について。
	2509	アルコール依存症～アルコール依存症から か回復～	27	一般	ビデオ	スリップ(再飲酒)の兆候・その早期発見から 対応まで。
	2510	アルコール依存症～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	断酒に失敗しないためのノウハウをあらゆる角 度から追求。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落 の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な 影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したも の。
	2515	あと一杯が飲めるか～ソーシャルドリン カーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師 さんが、飲酒によって起こる障害を予防するに はしたらよいかを精神科医と内科医に教示を うけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒 量の単位とは何か。肝臓の処理能力は、1単位の 消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は 絶対危険。
	2517	お酒と人生～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単 位では本格的な酔い、体温が上昇、脈が早くな る・3単位では酩酊期、気が大きくなって怒りつ ぽくなる。

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
	2518	アルコールキッド～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。
	2519	未成年者とアルコール	23	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
	2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。
	2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。
	2524	お年寄りとお酒の対策～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。
	2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2528～ 2531	アルコール依存症への道(1)～(4)	各20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人のことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症～回復プロセスと再発予防～	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
	2535	薬物依存～孤独そして絶望からの脱出～	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施設「ダルク」についての紹介。
	2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンダーボート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指す施設「ワンダーボート」の紹介。
	2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて
	2538	出所後の道しるべ～薬物を使わない新たな人生に向かって～	62	一般	DVD	ダルクの紹介と出所後の流れについて。
	2539	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用は脳を破壊する!	15	一般	DVD	薬物乱用防止の普及啓発。
	2540	“依存症”からの回復 第1巻 “依存症”とは何か	59	一般	DVD	依存症の正しい理解について。
	2541	“依存症”からの回復 第2巻 回復への道	67	一般	DVD	依存症からの回復のために必要な支援について。
	2542	“依存症”からの回復 第3巻 家族を支える	63	一般	DVD	家族が陥りがちな悪循環の構造を読み解き、回復への道を探る。
	2543	あなたの大切な人とお酒の関係 アルコール依存症の理解と対応	24	一般	DVD	アルコール依存症の理解とその対応について(保健所等での相談対応の手法等)
	2544	アルコール依存症に対する家族の効果的な対応の仕方		一般	DVD	アルコール依存症に対する家族の対応について。
心理・面接技法	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実際を分かりやすく解説したもの。

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
心理・面接技法	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法（生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようとするもの）
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のためのA-B-A方式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解説。
	2605	絵画療法 [1]	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 [2]	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってきてもらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 [3]	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接！	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接！！	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教示している。
	2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクのしみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれのカードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の性格や人格像を見極める。
	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トウ フェイス 1巻～マイクロカウセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トウ フェイス 2巻～積極技法ほか～	26	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トウ フェイス3巻～技法の統合ほか～	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編①モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編②導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入・・・技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答・・・ビデオを用いながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編③ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編④実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編①服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
2621	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編②基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。	
2622	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編③病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。	
2623	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編④余暇の過ごし方モジュール	23	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。（ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど）	

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。 (突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導 (BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る～SSTの倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待①	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。
	2632	面接への招待②	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
	2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 第1講 初級入門編 こうすれば子どもと対話が出来る。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。
	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちこみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり ① ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり ② 支援の実践にあたって	43	一般	DVD	同上
	2638	ひきこもり ③ 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	同上
	2639	ひきこもり ④ 検証、支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	同上
	2640	実録・家族療法1巻「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法2巻「力動的精神療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2642	実録・家族療法3巻「システムアプローチ」に基づく	87	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2644	認知行動療法 べてる式	95	一般	DVD	べてるの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。